JAPAN/MARC
MARC21 フォーマット
マニュアル
（2021 年 1 月）

典拠編

国立国会図書館
2024 年 3 月

目次

１．はじめに 4
２．収録範囲と内容 5
３．フォーマットとデータ内容 6
４．データの文字表現形式および凡例 7
５．読みの表現方法 8
６．関連規格およびコード一覧 10
７．用語の説明 11
８．フォーマットおよびデータ要素一覧 13
９．データ例示 30
１０．作成時期による典拠データの相違点について 35
１１．データ要素説明 36
レコードラベル（Leader） 38
●00-04：典拠レコード長 38
●05：レコード・ステータス 38
●06：レコード種別 39
●07-08：未定義項目 39
●09：文字コード 39
●10：インディケータの長さ 39
●11：サブフィールド識別子の長さ 39
●12-16：データのベースアドレス 39
●17：符号化レベル 39
●18：区切り記号法 39
●19：未定義項目 39
●20：データフィールド長領域の長さ 39
●21：先頭文字位置領域の長さ 40
●22：適用者指定項目の長さ 40
●23：未定義項目 40
00X：レコード管理ブロック 41
001　レコード管理番号 42
003　レコード管理番号識別子 43
005　レコード最終更新年月日 44
008　一般コード化情報 45
0XX：番号・コードブロック 49
010　米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN） 50

024　その他の標準識別子 51
040　典拠作成機関等 53
065　分類記号 55
1XX：典拠形アクセス・ポイントブロック 57
100　典拠形アクセス・ポイント：個人、家族 58
110　典拠形アクセス・ポイント：団体 62
130　典拠形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名 65
151　典拠形アクセス・ポイント：場所 68
3XX：識別要素ブロック 70
368　個人または団体のその他の識別要素 71
370　場所 72
372　活動分野 73
374　職業 74
380　著作の形式 75
381　著作のその他の特性 76
388　著作の日付 77
4XX：異形アクセス・ポイントブロック 78
400　異形アクセス・ポイント：個人、家族 79
410　異形アクセス・ポイント：団体 84
430　異形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名 88
451　異形アクセス・ポイント：場所 92
5XX：関連リンクブロック 95
500　関連リンク：個人、家族 96
510　関連リンク：団体 101
530　関連リンク：著作 105
551　関連リンク：場所 108
6XX：注記ブロック 111
670　出典 112
675　推量読み等 116
678　来歴 117
680　一般注記 119
682　標目訂正に関する注記 120
8XX：代替文字種表現ブロック 122
880　代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形） 123
更新履歴 125

１．はじめに

国立国会図書館では、2012 年 1 月から、米国議会図書館が提供する MARC 21 フォーマットに準拠した「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」での書誌・典拠データの提供を行っている。

本マニュアルは、この「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」のうち『JAPAN/MARC 典拠編』（以下、『JAPAN/MARC（A）』）について説明する。

国立国会図書館では、2021 年 1 月から、書誌データの作成に『日本目録規則 2018 年版』を適用している。

本マニュアルは、『日本目録規則 2018 年版』の適用に伴い、旧版（「JAPAN/MARC MARC21 フォーマットマニュアル典拠編」（2012 年 1 月～2020 年 12 月）[注1]）の内容を改訂したものである。

注１）最終更新：2019 年 4 月
（https://warp.da.ndl.go.jp/collections/NDL_WA_po_print/info:ndljp/pid/11628650/www.ndl.go.jp/jp/data/NDL_WA_po_JAPANMARC_MARC21manual_A.pdf）

２．収録範囲と内容

『JAPAN/MARC（A)』で扱う範囲は以下のとおりである。

（１）典拠データの種類

著者名典拠、著作典拠および固有名件名典拠を収録する。

著者名典拠には個人名典拠、団体名典拠が、固有名件名典拠には個人名典拠、家族名典拠、団体名典拠、地名典拠、統一タイトル件名典拠が含まれる。

（２）対応する書誌データ

『JAPAN/MARC MARC21 フォーマットマニュアル単行・逐次刊行資料編』に収録する資料、および和古書に対応する典拠データを収録する。

３．フォーマットとデータ内容

「JAPAN/MARC　MARC21 フォーマット」は、書誌情報交換用の国際標準フォーマット（ISO 2709）および MARC 21 注1) に準拠している。

「JAPAN/MARC　MARC21 フォーマット」では、日本語の特徴である漢字データとその読みを示す「片仮名読み形」、「ローマ字読み形」データとのリンクを行うため、特殊な処理を加えている。

本マニュアルでは、便宜的にデータフィールド群を以下の 8 ブロックに大別し、その中をフィールド、サブフィールドに細分して説明する。各フィールドはフィールド識別子およびインディケータによって、サブフィールドはサブフィールド識別子によって識別することができる。

注1）　MARC 21 は、米国議会図書館が提供し、各国で採用されている MARC フォーマットである。

ブロック	ブロック名	概要
00X	レコード管理ブロック	典拠レコード管理番号、その他のコード化情報
0XX	番号・コードブロック	分類記号、コード等
1XX	典拠形アクセス・ポイントブロック	典拠形アクセス・ポイントとして使用する名辞
3XX	識別要素ブロック	個人、団体の優先名称以外の識別要素、著作の優先タイトル、創作者以外の識別要素
4XX	異形アクセス・ポイントブロック	異形アクセス・ポイントとして記録する名辞（典拠形アクセス・ポイントとして記録しなかった名辞）
5XX	関連リンクブロック	典拠形アクセス・ポイント（フィールド 1XX）として記録する名辞とほかの典拠データの典拠形アクセス・ポイント（フィールド 1XX）として記録する名辞の間の関連
6XX	注記ブロック	出典、注記等
8XX	代替文字種表現ブロック	代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）

４．データの文字表現形式および凡例

（１）使用する文字コード

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」で使用する文字コードは ISO/IEC 10646（UCS)、符号化方式は UTF-8 とする。ただし、上記体系の範囲内の文字であっても、国立国会図書館における「文字の取扱い基準（2021 年 1 月)」に従い置き換える場合がある。

（２）制御文字符号

ISO/IEC 10646 で定義されているもののうち、「JAPAN/MARC MARC21 フォーマットで使用する制御文字符号は以下のとおりである。

コード	機能
1f（Hex）	サブフィールド識別子の最初の文字を示す
1e（Hex）	フィールド区分文字を示す
1d（Hex）	レコード区分文字を示す

（３）凡例

本マニュアルの例の中では、特に指定する場合を除き、便宜上以下の表現方法をとっている。

フィールド識別子	数字 3 桁で示す。例）100
インディケータ	数字 2 桁で示す。例）00
サブフィールド識別子 （サブフィールド開始文字＋サブフィールド識別文字)	サブフィールド開始文字を「$」で、サブフィールド識別文字をアルファベットまたは数字 1 文字で示す。例）$a
フィールド区分文字	「9.データ例示」では「￥」で示す。それ以外のデータ例示では省略している。
空白	それぞれ以下の通り表現する。 ・#　インディケータおよびコード中の空白 ・△　記述中の空白 ・□　区切り記号上の空白
レコード区分文字	「9.データ例示」では「@」で示す。それ以外のデータ例では省略している。

５．読みの表現方法

『JAPAN/MARC（A)』では、MARC 21 Format for Authority Data の Appendix C - Multiscript Records Model A: Vernacular and transliteration に準拠し、漢字データとその片仮名読み形、ローマ字読み形のデータをフィールド 880（代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形)）とそれ以外のフィールドの組で表現する。

片仮名読み形の表記は、国立国会図書館における「読みの基準（2021 年 1 月）別紙２．片仮名読み形記録要領」に従う。

ローマ字読み形の表記は、国立国会図書館における「読みの基準（2021 年 1 月）別紙３．ローマ字読み形記録要領」に従う。

・880以外のフィールド（以下「正規フィールド」という）：

漢字・仮名データを収録する。

組となる片仮名読み形またはローマ字読み形が存在するときは、サブフィールド$6に組となるフィールド識別子「880」とオカレンス番号を収録する。

・フィールド880：

片仮名読み形、またはローマ字読み形を、フィールドを繰り返して収録する。

第1インディケータ、第2インディケータとも、組となる正規フィールドと同値とする。

サブフィールド$6に、組となる正規フィールドのフィールド識別子、オカレンス番号、および当該フィールド880の文字種コードを収録する。

文字種コードは、MARC 21 Format for Authority DataのAppendix A - Control Subfields Subfield Codes $6 - Linkage Script identification codeに従い、片仮名読み形の場合「$1」（“Chinese, Japanese, Korean”を意味するコード値）、ローマ字読み形の場合「(B」（“Latin”を意味するコード値）とする。

（例）フィールド100、500の読みを収録する場合

100 1# $6 880-01[注1)]
　　$a 栗本,□薫,
　　$d 1953-2009
500 1# $6 880-02[注1)]
　　$a 中島,□梓,
　　$d 1953-2009
　　$0 00104727
880 1# $6 100-01/$1[注2)]
　　$a クリモト,□カオル,
　　$d 1953-2009

880 1# $6 100-01/(B[注2)]

$a Kurimoto,□Kaoru,

$d 1953-2009

880 1# $6 500-02/$1[注2)]

$a ナカジマ,□アズサ,

$d 1953-2009

$0 00104727

880 1# $6 500-02/(B[注2)]

$a Nakajima,□Azusa,

$d 1953-2009

$0 00104727

注1） 正規フィールドの$6：880-[オカレンス番号]

注2） フィールド 880 の$6：[組となる正規フィールドのフィールド識別子]-[オカレンス番号]/[文字種コード（「$1」は片仮名読み形、「(B」はローマ字読み形）]

※ フィールド 880 の第 1、第 2 インディケータは、組となる正規フィールドと同値

６．関連規格およびコード一覧

（１）国際規格

ISO 2709

Information and documentation -- Format for Information Exchange

ISO 8601

Data elements and interchange formats -- Information interchange -- Representation of dates and times

ISO/IEC 10646

Information technology — Universal Coded Character Set (UCS)

（２）国内規格

JIS X 0221　国際符号化文字集合（UCS）
（ISO 10646）

JIS X 0301　情報交換のためのデータ要素および交換形式－日付および時刻の表記
（ISO 8601）

（３）MARC 21 コード表

MARC Code List for Organizations

MARC Code List for Languages

Description Convention Source Codes

Classification Scheme Source Codes

Subject Heading and Term Source Codes

Standard Identifier Source Codes

７．用語の説明

本マニュアルの中で使われている主な用語について説明する。

用語	説明
インディケータ	データフィールドの最初に置く 2 バイトのデータ。フィールド内のデータに関する付加的情報や、リンク付けなど典拠データ内の他のフィールドとの関係、またはデータ処理過程で要求される特定の処理に対する付加的情報を示す。
サブフィールド	データフィールドを構成する要素の一つで、特定の典拠単位を記述するためのデータを収める部分をいう。
サブフィールド識別子	サブフィールドの最初に置くサブフィールドを同定、識別するための 2 バイトのデータ。サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字からなる。本文の例では、サブフィールド開始文字を「$」で表示してある。
スペース	一連の図形符号内で空欄として示される図形キャラクタ。
先頭位置	各データフィールドの第 1 文字目の位置を示すもの。データフィールド群のベースアドレスから何バイト隔たっているかで表現する。
ディレクトリ	典拠データの中の各データフィールドのフィールド識別子、フィールド長、先頭位置を示す記載項目（エントリ）のテーブル。
データのベースアドレス	典拠データの中の各データフィールドの先頭番地を示すための原点。典拠データの冒頭ではなく、データフィールド群の先頭位置。
データフィールド	典拠データを構成する可変長フィールドで、特定の種類のデータを収録する。
データフィールドの長さ	対応するデータフィールドの物理的な範囲であり、具体的にはそのバイト長をいう。フィールド区分文字を含む。
典拠データ	書誌データの典拠形アクセス・ポイントに関する情報を収めたフィールドの集合。レコードラベル、ディレクトリ部、フィールド区分文字、データフィールド群およびレコード区分文字からなる。
バイト	文字を表現する単位。
フィールド区分文字	各可変長フィールドを区切るため、その末尾に用いる制御文字。「９．データ例示」の例示でのみ「¥」で示す（ほかの例示では省略）。
フィールド識別子	各データフィールドに対応してそのフィールドの内容を同定するための文字列。
レコード区分文字	典拠データを論理的に区切るため、その末尾に用いる制御文字。「９．データ例示」の例示でのみ「@」で示す（ほかの例示では省略）。
レコード長	典拠データの先頭からレコード区分文字までの 1 件の典拠データの長

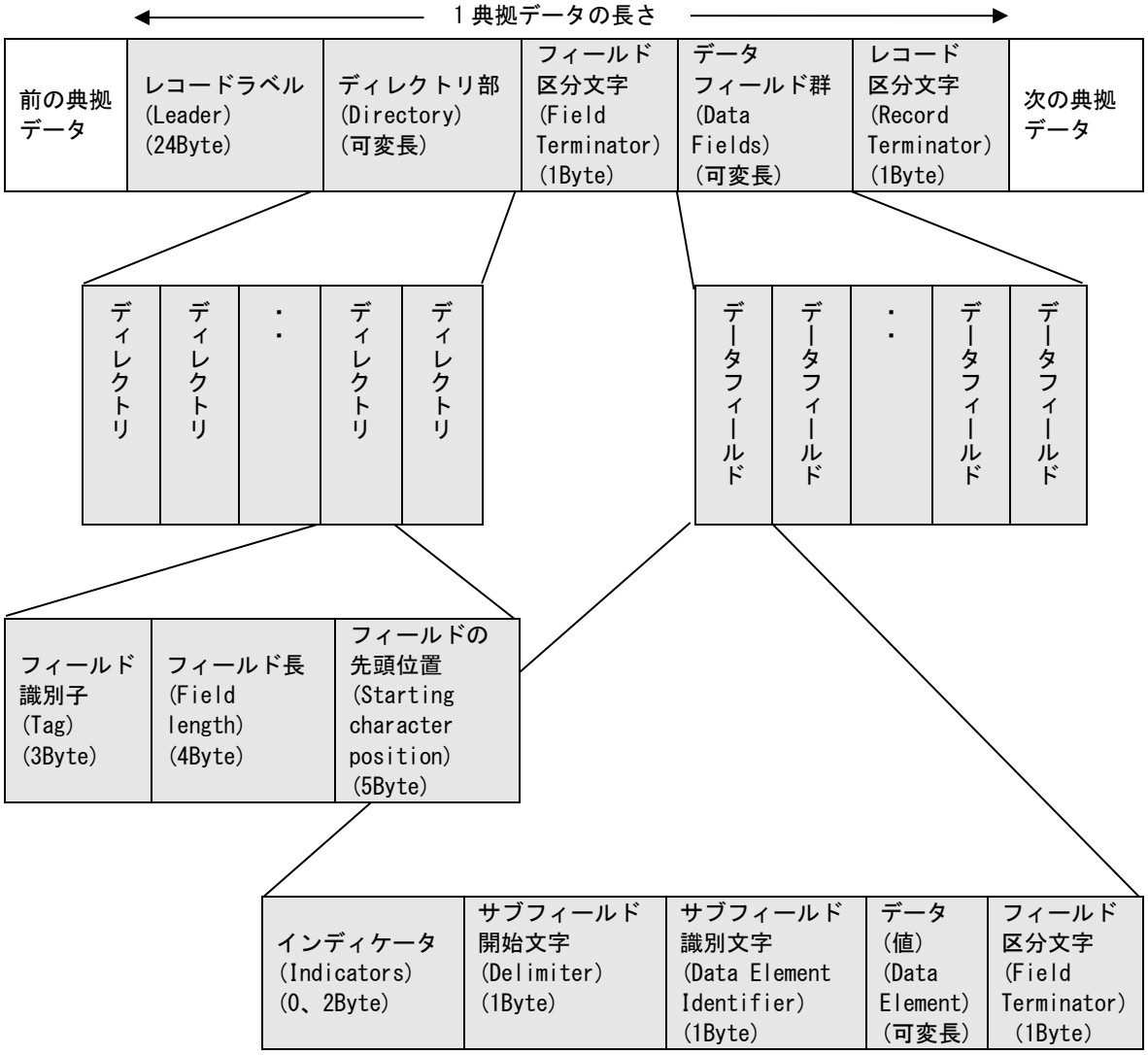
	さ。
レコードラベル	典拠データの冒頭のフィールドで、その典拠データの操作処理上の要件を示すもの。

８．フォーマットおよびデータ要素一覧

（１）フォーマットおよびデータ要素一覧

・データ形式の考え方

各構成要素の詳細は表を参照のこと。



No.	構成要素			特記事項等
	名称	表　示 形式	表示 幅 (Byte)	
				文字コード(*1)
レコードラベル				以下 No.1～15 の固定長(24Byte)
1	典拠レコード長	数字	5	レコードラベルの先頭から典拠データの長さ(バイト数)を 5 桁の 10 進数で表示する。 5 桁に満たない場合 0 埋め。"00577" レコードラベルの長さ(24Byte)+ディレクトリ部の長さ+フィールド区分文字(1Byte)+データフィールド群の長さ+レコード区分文字の長さ(1Byte)
2	レコード・ステータス	英字	1	"c" : 訂正 "d" : 削除 "n" : 新規
3	レコード種別	英字	1	"z"固定
4	未定義項目	英字	2	"##"固定
5	文字コード	英字	1	"a"固定
6	インディケータの長さ	数字	1	"2"固定
7	サブフィールド識別子の長さ	数字	1	"2"固定
8	データのベースアドレス	数字	5	データフィールド群の先頭位置を表す。 典拠データの先頭からのバイト数を 10 進数 5 桁で表示する。 5 桁に満たない場合 0 埋め。"00169"
9	符号化レベル	英字	1	"n"固定
10	区切り記号法	英字	1	"#"固定
11	未定義項目	英字	1	"#"固定
12	データフィールド長領域の長さ	数字	1	"4"固定
13	先頭文字位置領域の長さ	数字	1	"5"固定
14	適用者指定項目の長さ	数字	1	"0"固定

15	未定義項目	数字	1	″0″固定
ディレクトリ部				可変長。No.1～3 のディレクトリの集合より構成される。(12×nByte) n ： データフィールド数
1	フィールド識別子	数字	3	フィールドを識別するための 3 桁の数字(タグ)。 データフィールドに値のないタグは省略。
2	フィールド長	数字	4	データフィールドの長さ(バイト数)を示す 4 桁の 10 進数。4 桁に満たない場合 0 埋め。″0009″ フィールドの長さには、インディケータ、サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字、およびフィールド区分文字も含む。
3	フィールドの先頭位置	数字	5	当該フィールドの先頭文字の位置をデータフィールド群の先頭(データのベースアドレス)から相対バイト数で示す。5 桁の 10 進数で、5 桁に満たない場合 0 埋め。″00015″
フィールド区分文字				ディレクトリ部の最後に挿入する。
1	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex)固定
データフィールド群				固定長／可変長。 ・ディレクトリにて指定された位置、長さのデータフィールドの集合により構成される。 ・前述した「データフィールドの長さ」は、以下の No.1～5 の長さの合計値とフィールド区分文字との和を表す。 ・データのないデータフィールドは省略。 ・サブフィールド識別子を持たないデータは、以下の No.1～3 の項目を省略。 ・データおよびタグについては「(2)タグ一覧」を参照。
1	インディケータ	数字／英字	0,2	存在しない場合は省略。
2	サブフィールド開始文字	Binary	1	サブフィールド識別子の最初の文字。1f(Hex)固定
3	サブフィールド識別文字	数字／英字	1	サブフィールド識別子の 2 文字目。サブフィールドを識別するための英小文字 1 字。

4	データ	数字／英字／漢字	可変長	データフィールドの値を表示。
5	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e（Hex）固定
レコード区分文字				各レコードの最後に挿入する。
1	レコード区分文字	Binary	1	レコード区分文字。1d（Hex）固定

(*1)文字コード体系は、以下のとおりとする。

文字コード	符号化方式
UCS（ISO/IEC 10646）	UTF-8

（２）タグ一覧

・凡例

【フィールド】

番号順にフィールドを並べる。

【サブフィールド識別文字／文字位置】

出現順にサブフィールド識別文字・文字位置を並べる。

【必須】

当館で作成する典拠データにおけるフィールド、サブフィールド、文字位置の要求度を示す。フィールド名と同行にある場合は、フィールドの要求度、サブフィールド名または文字位置名と同行にある場合は、フィールドが存在する場合のサブフィールドの要求度をそれぞれ示す。要求度については、米国議会図書館の定める「MARC 21 Format for Authority Data」に基本的に準拠するが、一部、当館の典拠作成ルールにより、度合いが異なることがある。

フィールド、サブフィールド、文字位置が省略不可で、必ず出現する場合は、「M」と記載する。当フォーマットでは、固定長フィールドの任意の文字位置においてコード不使用の値「|」が許容される場合であっても、値の省略は不可であることから、「M」と記載することとする。

＜記号の用法＞

M　　必須　（Mandatory）

A　　あれば必須（Applicable）

O　　任意（Optional）

【繰り返し】

フィールド単位、サブフィールド単位の繰り返し可否を示す。フィールド名と同一行にある場合は、フィールド単位の繰り返し、サブフィールド名と同一行にある場合は、サブフィールド単位の繰り返しをそれぞれ示す。繰り返し可否については、米国議会図書館の

定める「MARC 21 Format for Authority Data」に基本的に準拠するが、一部、当館の典拠作成ルールにより、繰り返しに制約を設ける。

＜記号の用法＞

○　　繰り返し可

空白　繰り返し不可

【備考】

＜記号の用法＞

#　　半角スペース

【サンプル】

サブフィールド単位でサンプルデータを例示する。必ずしもフィールド単位で一連のデータになっていないことを注意されたい。

＜記号の用法＞

#　　半角スペース

フィールド	フィールド名	第一インディケータ	第二インディケータ	サブフィールド識別文字／文字位置	サブフィールド名称／文字位置名称	必須	繰り返し	備考	サンプル
001	レコード管理番号	-	-			M		8Byte または 9Byte	031226907
003	レコード管理番号識別子	-	-			M		"JTNDL"固定	JTNDL
005	レコード最終更新年月日	-	-			M		YYYYMMDDHHMMSS.0	20210201170257.0
008	一般コード化情報	-	-			M		固定長 40Byte	
				00-05	レコード新規作成年月日	M		YYMMDD YY は西暦年の下二桁	210126
				06	地理区分指示	M		"#" 固定	#
				07	ローマ字化スキーム	M		"|"固定	|
				08	目録用言語	M		"|"固定	|
				09	典拠の種類	M		"a"固定	a
				10	適用する目録規則	M		"z"固定	z
				11	適用する件名標目表	M		"z"固定	z
				12	シリーズのタイプ	M		"n"固定	n
				13	シリーズの番号付の有無	M		"n"固定	n
				14	著作に対する典拠形アクセス・ポイント、典拠形アクセス・ポイント（統一タイトル）および創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントとしての使用可否	M		"a"固定	a
				15	典拠形アクセス・ポイント（件名）としての使用可否	M		"a"固定	a
				16	典拠形アクセス・ポイント（シリーズ）としての使用可否	M		"b"固定	b
				17	細目の種類	M		"n"固定	n
				18-27	未定義	M		"#########"固定	#########

				28	官公庁の種類	M		″f″ : 中央官庁 ″l″ : 地方公共団体 ″#″ : 官公庁以外 ″|″ : コード不使用	f
				29	レファレンス・エヴァリュエーション	M		″|″固定	|
				30	未定義	M		″#″固定	#
				31	レコードの状態	M		″|″固定	|
				32	個人名典拠がユニークか否か示すコード	M		″a″ : 個人名がユニークである ″n″ : 適用外 個人名典拠の場合は常に a を記録する。それ以外の場合は家族名を含め n を記録する。	n
				33	確定状況	M		″a″ : 確立 ″c″ : 未確立 ″d″ : 暫定 c,d は一部データに出現するが、通常はaである。	a
				34-37	未定義	M		″####″固定	####
				38	改変レコード	M		″#″ : 改変なし ″x″ : 文字の欠落あり（レコード中にゲタ記号(=)が存在する場合）	x
				39	典拠作成機関	M		″#″固定	#
010	米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN）	#	#			A			
				$a	米国議会図書館典拠レコード管理番号	A			n#79084664
024	その他の標準識別子	7	#			A	○	第 1 インディケータ : 標準番号の種類 ″7″ : $2 に情報源を明示	
				$a	標準番号・コード	A			121880
				$2	情報源	M			ktga
040	典拠作成機関等	#	#			M			
				$a	目録作成機関	M		″JTNDL″固定	JTNDL
				$b	目録用言語	M		″jpn″固定	jpn
				$c	目録変換機関	M		″JTNDL″固定	JTNDL
				$e	目録規則	M		″ncr″固定	ncr
				$f	件名標目表	M		″ndlsh″固定	ndlsh
065	分類記号	#	#			O	○		
				$a	分類記号	M			EC94

				$2	分類法	M		"kktb" : "NDLC" "njb/10" : "NDC 10 版" "njb/09" : "NDC 9 版" "njb/08" : "NDC 8 版"	kktb
100	典拠形アクセス・ポイント：個人、家族	1 3	#			A		第 1 インディケータ : 実体種別 "1" : 個人 "3" : 家族	
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-01
				$a	優先名称	M			【個人名】 Paul 【家族名】 上杉（家）（米沢市）
				$b	世系	A			VI
				$q	展開形	A		全体を丸がっこで囲んで記録する。	
				$d	生年、没年	A			1897-1978
				$c	識別要素	A			Pope
110	典拠形アクセス・ポイント：団体	2	#			A			
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-01
				$a	優先名称	M		団体の識別要素を付加する場合は、優先名称に続けて、丸がっこでここに付加する。	浅間神社（富士宮市）
				$x	主題細目	A	○		
				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		
130	典拠形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名	#	0			A			
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-01
				$a	優先タイトル	M			万葉集
				$n	部編等	A	○		
				$x	主題細目	A	○		評釈

				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		索引
151	典拠形アクセス・ポイント：場所	#	#			A			
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-01
				$a	優先名称	M			日本
				$x	主題細目	A	○		外国関係
				$z	地名細目	A	○		フランス
				$y	時代細目	A	○		江戸末期
				$v	形式細目	A	○		史料
368	個人または団体のその他の識別要素	#	#			0	○		
				$c	その他の識別語句	A	○		
				$d	称号等	A	○		Princess
370	場所	#	#			0	○		
				$e	所在地等	A	○		香港
372	活動分野	#	#			0	○		
				$a	活動分野	M	○		フランス文学
374	職業	#	#			0	○		
				$a	職業	M	○		画家
380	著作の形式	#	#			0	○		
				$a	著作の形式	M	○		
381	著作のその他の特性	#	#			0	○		
				$a	その他の特性	M	○		
388	著作の日付	1	#			0	○		
				$a	日付	M	○		平安時代
400	異形アクセス・ポイント：個人、家族	1 3	#			A	○	第 1 インディケータ ： 実体種別 "1" ： 個人 "3" ： 家族	
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-02
				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a" ： 旧称 "b" ： 新称 "d" ： 略称 "r" ： $i に関係を明示	r

				$i	名称種類	A		優先名称と異形名称の関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する。	本名
				$a	異形名称	M			三遊亭, 円朝
				$b	世系	A			2 代目
				$q	展開形	A		全体を丸がっこで囲んで記録する。	
				$d	生年、没年	A			
				$c	識別要素	A			
410	異形アクセス・ポイント：団体	2	#			A	○		
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-02
				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a"：旧称 "b"：新称 "d"：略称 "r"：$i に関係を明示	r
				$i	名称種類	A		優先名称と異形名称の関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する。	愛称
				$a	異形名称	M			発掘ふれあい館
				$x	主題細目	A	○		
				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		
430	異形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名	#	0			A	○		
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-02

				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a"：旧称 "b"：新称 "d"：略称 "r"：$i に関係を明示	r
				$i	名称種類	A		異形タイトルが原名称(原タイトル)の場合は、「原名称」と記録する。 異形タイトルが「基本件名標目表(BSH)」に収載された件名の場合は、BSH の ID(レコード識別番号）を記録する。 原名称または BSH の ID を記録する場合、$w に r を記録する。	原名称 BSH4: 00587100
				$a	異形タイトル	M			ローマの信徒への手紙
				$n	部編等	A	○		
				$x	主題細目	A	○		新約
				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		索引
451	異形アクセス・ポイント：場所	#	#			A	○		
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-02
				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a"：旧称 "b"：新称 "d"：略称 "r"：$i に関係を明示	r
				$i	名称種類	A		異形名称が「米国議会図書館件名標目表（LCSH）」または「基本件名標目表(BSH)」に収載された件名の場合は、それぞれの典拠レコード管理番号等を記録する。 LCSH または BSH の典拠レコード管理番号等を記録する場合、$w に r を記録する。	LCCN: n78089021 BSH4: 00697000
				$a	異形名称	M			Japan
				$x	主題細目	A	○		

				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		
500	関連リンク：個人、家族	1 3	#			A	○	第1インディケータ：実体種別 "1"：個人 "3"：家族	
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。	880-03
				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a"：旧称 "b"：新称 "r"：$iに関係を明示	a
				$i	関連の詳細な種類	A		関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する。 個人間の関連について、関連指示子「別名」、「本名」、「筆名」、「号」のいずれかを記録する場合は、$wにrを記録する。著作と個人の関連について、関連指示子のいずれかを記録する場合は、$wにrを記録する。	別名 著者
				$a	優先名称	M			中村, 鴈治郎
				$b	世系	A			3世
				$q	展開形	A		全体を丸がっこで囲んで記録する。	
				$d	生年、没年	A			1931-2020
				$c	識別要素	A			
				$0	リンク先典拠レコード管理番号	M			00651546
510	関連リンク：団体	2	#			A	○		
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。	880-03
				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a"：旧称 "b"：新称 "r"：$iに関係を明示	b

				$i	関連の詳細な種類	A		著作と団体の関連について、関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する。	著者
				$a	優先名称	M			大日本雄弁会講談社
				$x	主題細目	A	○		
				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		
				$0	リンク先典拠レコード管理番号	M			00256844
530	関連リンク：著作	#	0			A	○		
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-03
				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係） "r" ： $i に関係を明示	
				$i	関連の詳細な種類	A		著作間の関連について、関連指示子「上位」、「下位」のいずれかを文字列で記録する。 この場合、$w に r を記録する。	上位 下位
				$a	優先タイトル	M			
				$n	部編等	A	○		
				$x	主題細目	A	○		
				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		
				$v	形式細目	A	○		
				$0	リンク先典拠レコード管理番号	M			
551	関連リンク：場所	#	#			A	○		
				$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-03

				$w	コントロール・サブフィールド	A		$w/0（関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係） "a"：旧称 "b"：新称 "g"：上位語 "h"：下位語	g
				$a	優先名称	M			日本
				$x	主題細目	A	○		歴史
				$z	地名細目	A	○		
				$y	時代細目	A	○		明治以後
				$v	形式細目	A	○		
				$0	リンク先典拠レコード管理番号	M			00568295
670	出典	#	#			A	○		
				$a	出典	M			ハリー・ポッターと賢者の石，1999.12
				$b	情報源等	A			(読み)
675	推量読み等	#	#			0			
				$a	推量読み等	M	○		推量読み
678	来歴	0 1	#			0	○	第1インディケータ：データ種別 "0"：個人の履歴・家族の歴史 "1"：団体・場所の沿革	
				$a	来歴	M			2003年4月名称変更
				$b	来歴の根拠	0			researchmap (20191003)
680	一般注記	#	#			0	○		
				$i	一般注記	M			分離独立前のチェコスロバキアには「チェコスロバキア」（典拠 ID: 00573587)を使用
682	標目訂正に関する注記	#	#			0			
				$i	標目訂正に関する注記	M	○		没年追加 (20060529)
880	代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）	X	X			A	○	第1インディケータ・第2インディケータ 対応するフィールドのインディケータと同じ。読みの表現方法については、注1を参照。	
				$6	読みの対応関係	M		対応するフィールドを指示する。	100-01/$1

				X	対応するフィールドに同じ			対応するフィールドのサブフィールドと同じ （フィールド 5XX の $i を除く）	

注 1）読みの表現方法について

読みの表現方法は、Appendix C: Multiscript Records の Model A に準拠する。

正規フィールドに対応する片仮名読み形・ローマ字読み形をフィールド 880（代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形））に保持する。正規フィールドと読み形フィールドの対応関係は、サブフィールド$6 に下記のとおり値を格納することにより表現する。

フィールド名	$6 の値
正規フィールド	読み形フィールド番号-オカレンス番号
読み形フィールド（片仮名読み形）	正規フィールド番号-オカレンス番号/$1
読み形フィールド（ローマ字読み形）	正規フィールド番号-オカレンス番号/(B

※オカレンス番号とは、読み形を持つ正規フィールドの出現順を示す 2 桁の数字である。

※“/”は Appendix A で規定されている区切り記号。“$1”は Script identification code で“Chinese, Japanese, Korean”を意味するコード値、“(B”は Script identification code で“Latin”を意味するコード値。

例）

100 1# $6880-01
　　$a 栗本,□薫,
　　$d1953-2009
500 1# $6880-02
　　$a 中島,□梓,
　　$d1953-2009
　　$000104727
880 1# $6100-01/$1
　　$a クリモト,□カオル,
　　$d1953-2009
880 1# $6100-01/(B
　　$aKurimoto, □Kaoru,
　　$d1953-2009
880 1# $6500-02/$1
　　$a ナカジマ,□アズサ,
　　$d1953-2009
　　$000104727
880 1# $6500-02/(B
　　$aNakajima,□Azusa,

$d1953-2009
$000104727

９．データ例示

＜凡例＞

・JAPAN/MARC MARC21 フォーマットの典拠レコード例を下表に示す。

・実際の JAPAN/MARC MARC21 フォーマットでは、データフィールドにはインディケータ（表中では「ind.」という）、サブフィールドコード、および値が格納されているが、便宜上フィールドコードとともに示す。

・レコードラベル、インディケータ、及び固定長フィールド中の半角スペースは「#」で示す。可変長フィールド中の半角スペースは特に記号で示さない。

・サブフィールド区分文字は「$」、フィールド区分文字は「￥」、レコード区分文字は「@」で示す。ただし「$1」はサブフィールド中の値である。

＜個人名＞

レコードラベル	00942cz##a2200313n##4500
ディレクトリ	001000900000003000600009005001700015008004100032024001700073040003400090065001600124065001900140065001900159100003600178400002500214400003900239400002000027840000200029853000320031867000140035067000200036467800140038468200280039888000510042688000400047788000350051788000440055288000320059 6￥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		00270230￥
003		JTNDL￥
005		20230707160052.0￥
008		930625#||azznnaabn#########||#|aa#####￥
024	7#	$a 121880 $2 ktga￥
040	##	$a JTNDL $b jpn $c JTNDL $e ncr $f ndlsh￥
065	##	$a KG137 $2 kktb￥
065	##	$a 910.24 $2 njb/10￥
065	##	$a 910.24 $2 njb/09￥
100	1#	$6 880-01 $a 鴨, 長明, $d 1153-1216￥
400	1#	$w r $i 通称 $a 菊太夫￥
400	1#	$6 880-02 $a كامو نو تشوميه￥
400	1#	$a Kamono, Tjoomei￥
400	1#	$a Kamo no Chōmei￥
530	#0	$6 880-03 $a 方丈記 $0 00646438￥

670	##	$a 発心集￥
670	##	$a 大人名事典￥
678	0#	$a 文学者￥
682	##	$i 1154?→1153 (20010313)￥
880	1#	$6 100-01/$1 $a カモ, チョウメイ, $d 1153-1216￥
880	1#	$6 100-01/(B $a Kamo, Chomei, $d 1153-1216￥
880	1#	$6 400-02/(B $a Kāmūnū Tshūmīh￥
880	#0	$6 530-03/$1 $a ホウジョウキ $0 00646438￥
880	#0	$6 530-03/(B $a Hojoki $0 00646438￥@

＜家族名＞

レコードラベル	00487nz##a2200157n##4500
ディレクトリ	001001000000003000600010005001700016008004100033040003400074065001500108065001800123100003700141670005500178880005200233880004400285￥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		031196963￥
003		JTNDL￥
005		20210108155922.0￥
008		210108#||azznnaabn##########||#|na######￥
040	##	$a JTNDL $b jpn $c JTNDL $e ncr $f ndlsh￥
065	##	$a GK13 $2 kktb￥
065	##	$a 288.3 $2 njb/10￥
100	3#	$6 880-01 $a 村松 (家)(静岡市)￥
670	##	$a 駿府髪結い「松床」七代の歩み, 1992.9￥
880	3#	$6 100-01/$1 $a ムラマツ (ケ)(シズオカシ)￥
880	3#	$6 100-01/(B $a Muramatsu (Ke) (Shizuokashi)￥@

＜団体名＞

レコードラベル	00890cz##a2200217n##4500
ディレクトリ	001001000000003000600010005001700016008004100033040003400074110005200108410004800160410001200208510005300220670004700273678001000320678002800330880010200358880006200460880008900522880006100611￥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		031226907￥
003		JTNDL￥
005		20210201170257.0￥
008		210126#||azznnaabn##########||#|na######￥
040	##	$a JTNDL $b jpn $c JTNDL $e ncr $f ndlsh￥
110	2#	$6 880-01 $a 東京都立産業技術大学院大学￥
410	2#	$a Advanced Institute of Industrial Technology￥
410	2#	$w d $a AIIT￥
510	2#	$6 880-02 $w a $a 産業技術大学院大学 $0 01080446￥
670	##	$a 産技大で本気の学び直し, [2020]-￥
678	1#	$a 2020-￥
678	1#	$a 2020 年 4 月名称変更￥
880	2#	$6 110-01/$1 $a トウキョウ トリツ サンギョウ ギジュツ ダイガクイン ダイガク￥
880	2#	$6 110-01/(B $a Tokyo toritsu sangyo gijutsu daigakuin daigaku￥
880	2#	$6 510-02/$1 $w a $a サンギョウ ギジュツ ダイガクイン ダイガク $0 01080446￥
880	2#	$6 510-02/(B $w a $a Sangyo Gijutsu Daigakuin Daigaku $0 01080446￥@

＜地名＞

レコードラベル	00422nz##a2200133n##4500
ディレクトリ	001001000000003000600010005001700016008004100033040003400074151003800108670004400146880005600190880004200246￥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		031229517￥
003		JTNDL￥
005		20210127113111.0￥
008		210127#||azznnaabn##########||#|na######￥
040	##	$a JTNDL $b jpn $c JTNDL $e ncr $f ndlsh￥
151	##	$6 880-01 $a 長野県 $x 歴史 $y 近世￥
670	##	$a 木曽路民衆の維新変革, 2020.11￥
880	##	$6 151-01/$1 $a ナガノケン $x レキシ $y キンセイ￥
880	##	$6 151-01/(B $a Naganoken $x Rekishi $y Kinsei￥@

＜著作＞

レコードラベル	00647cz##a2200193n##4500
ディレクトリ	001001000000003000600010005001700016008004100033024001800074040003400092130002500126500006000151670002600211670002100237880003500258880002900293880007000322880006100392￥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		031220966￥
003		JTNDL￥
005		20240124140909.0￥
008		210122#||azznnaabn##########||#|na######￥
024	7#	$a 2186325 $2 ktgw￥
040	##	$a JTNDL $b jpn $c JTNDL $e ncr $f ndlsh￥
130	#0	$6 880-01 $a 花月日記￥
500	1#	$6 880-02 $w r $i 著者 $a 松平, 定信, $d 1758-1829 $0 00270750￥
670	##	$a 花月日記, 2020.12￥
670	##	$a KOKUSHO: 2186325￥
880	#0	$6 130-01/$1 $a カゲツ ニッキ￥
880	#0	$6 130-01/(B $a Kagetsu nikki￥
880	1#	$6 500-02/$1 $w r $a マツダイラ, サダノブ, $d 1758-1829 $0 00270750￥
880	1#	$6 500-02/(B $w r $a Matsudaira, Sadanobu, $d 1758-1829 $0 00270750￥@

＜統一タイトル＞

レコードラベル	00597nz##a2200181n##4500
ディレクトリ	001001000000003000600010005001700016008004100033040003400074065001600108065001800124130003100142670006800173670003700241680004700278880005500325880003500380￥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		031223997￥
003		JTNDL￥
005		20210125101635.0￥

	008		210125#||azznnaabn##########||#|na######￥
	040	##	$a JTNDL $b jpn $c JTNDL $e ncr $f ndlsh￥
	065	##	$a KG693 $2 kktb￥
	065	##	$a 913.6 $2 njb/10￥
	130	#0	$6 880-01 $a 五重塔 (小説)￥
	670	##	$a 樋口一葉、幸田露伴の代表作を読み直す, 2020.12￥
	670	##	$a 世界大百科事典 (20210125)￥
	680	##	$i 幸田, 露伴 (1867-1947) による著作￥
	880	#0	$6 130-01/$1 $a ゴジュウノトウ (ショウセツ)￥
	880	#0	$6 130-01/(B $a Gojunoto (Shosetsu)￥@

１０．作成時期による典拠データの相違点について

2020 年 12 月までに作成した典拠データは、2021 年 1 月以降に作成した典拠データとは記録方法が異なる場合がある。作成時期に応じた各フィールドにおける個別の相違点は、「１１．データ要素説明」を参照のこと。複数のフィールドに共通の相違点は、以下のとおりである。

・複数のフィールドに共通の相違点

【細目の種類】

フィールド 130、151、430、451、551 において細目の種類を示すサブフィールドは以下のとおりであるが、2011 年 11 月までに作成したレコードでは、サブフィールド識別子が示す細目の種類と異なる種類の細目が記録されている場合がある。

$v　形式細目

$x　主題細目

$y　時代細目

$z　地名細目

※ 2011 年 12 月から作成したレコードにおいては、サブフィールド識別子が示す細目の種類と、それぞれのサブフィールドに記録されている細目の種類は一致する。

１１．データ要素説明

内容

レコードラベル（Leader） 38

●00-04：典拠レコード長 38

●05：レコード・ステータス 38

●06：レコード種別 39

●07-08：未定義項目 39

●09：文字コード 39

●10：インディケータの長さ 39

●11：サブフィールド識別子の長さ 39

●12-16：データのベースアドレス 39

●17：符号化レベル 39

●18：区切り記号法 39

●19：未定義項目 39

●20：データフィールド長領域の長さ 39

●21：先頭文字位置領域の長さ 40

●22：適用者指定項目の長さ 40

●23：未定義項目 40

00X：レコード管理ブロック 41

001　レコード管理番号 42

003　レコード管理番号識別子 43

005　レコード最終更新年月日 44

008　一般コード化情報 45

0XX：番号・コードブロック 49

010　米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN） 50

024　その他の標準識別子 51

040　典拠作成機関等 53

065　分類記号 55

1XX：典拠形アクセス・ポイントブロック 57

100　典拠形アクセス・ポイント：個人、家族 58

110　典拠形アクセス・ポイント：団体 62

130　典拠形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名 65

151　典拠形アクセス・ポイント：場所 68

3XX：識別要素ブロック 70

368　個人または団体のその他の識別要素 71

370　場所 72
372　活動分野 73
374　職業 74
380　著作の形式 75
381　著作のその他の特性 76
388　著作の日付 77
4XX：異形アクセス・ポイントブロック 78
400　異形アクセス・ポイント：個人、家族 79
410　異形アクセス・ポイント：団体 84
430　異形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名 88
451　異形アクセス・ポイント：場所 92
5XX：関連リンクブロック 95
500　関連リンク：個人、家族 96
510　関連リンク：団体 101
530　関連リンク：著作 105
551　関連リンク：場所 108
6XX：注記ブロック 111
670　出典 112
675　推量読み等 116
678　来歴 117
680　一般注記 119
682　標目訂正に関する注記 120
8XX：代替文字種表現ブロック 122
880　代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形） 123

レコードラベル（Leader）

レコードラベル（Leader）は 24 桁からなり、各データ要素はその位置によって定義される。

データ要素名称	文字数	文字位置
典拠レコード長	5	00-04
レコード・ステータス	1	05
レコード種別	1	06
未定義項目	2	07-08
文字コード	1	09
インディケータの長さ	1	10
サブフィールド識別子の長さ	1	11
データのベースアドレス	5	12-16
符号化レベル	1	17
区切り記号法	1	18
未定義項目	1	19
データフィールド長領域の長さ	1	20
先頭文字位置領域の長さ	1	21
適用者指定項目の長さ	1	22
未定義項目	1	23

●00-04：典拠レコード長

・典拠データの長さ（バイト数）を 5 桁の 10 進数で表示する。5 桁に満たない場合は、“00525”のように 0 埋めしている。典拠データの長さ（バイト数）とは、具体的には「レコードラベル（Leader）の長さ（24Byte）＋ディレクトリの長さ＋フィールド区分文字（1Byte）＋データフィールド群の長さ＋レコード区分文字（1Byte)」である。

●05：レコード・ステータス

c　　訂正

d　　削除

n　　新規

・典拠データの状態を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。

●06：レコード種別

z　　典拠データ

・常に「z」を記録する。

●07-08：未定義項目

・常に 2 桁分「#」とする。

●09：文字コード

a　　UCS／ユニコード

・常に「a」を記録する。

●10：インディケータの長さ

・常に「2」を記録する。

●11：サブフィールド識別子の長さ

・常に「2」を記録する。

●12-16：データのベースアドレス

・データフィールド群の先頭位置を表す。典拠データの先頭からのバイト数を 10 進数 5 桁で表示する。5 桁に満たない場合は、“00337”のように 0 埋めしている。

●17：符号化レベル

n　　完成典拠レコード

・常に「n」を記録する。

●18：区切り記号法

#　　情報なし

・常に「#」を記録する。

●19：未定義項目

#　　未定義

・常に「#」を記録する。

●20：データフィールド長領域の長さ

・常に「4」を記録する。

●21：先頭文字位置領域の長さ

・常に「5」を記録する。

●22：適用者指定項目の長さ

・常に「0」を記録する。

●23：未定義項目

・常に「0」を記録する。

例 1）

00525cz##a2200337n##4500

00X：レコード管理ブロック

このブロックには、典拠レコード管理番号および典拠データを処理する際に必要な、その他のコード化情報を記録する。

■フィールド一覧

001　　レコード管理番号
003　　レコード管理番号識別子
005　　レコード最終更新年月日
008　　一般コード化情報

001　レコード管理番号

■インディケータ

なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドには、典拠レコード管理番号を記録する。頒布される典拠データでは、8桁または9桁からなるレコード管理番号が記録されている。

フィールド末尾には区切り記号なし。

例 1）

001 001306366

例 2）2011 年 11 月までに作成したデータ

001 00054222

003　レコード管理番号識別子

■インディケータ

なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

常に「JTNDL」（MARC 21 MARC Code List for Organizations で国立国会図書館を表すコード）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

例 1）

003 JTNDL

005　レコード最終更新年月日

■インディケータ

なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドには、典拠データの最終更新年月日（「yyyymmddhhmmss.f」形式。yyyy：西暦年　mm：月　dd：日　hh：時　mm：分　ss：秒　f：秒の小数第一位）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

例 1）最終更新日が 2021 年 3 月 10 日 13 時 40 分 34 秒

005 20210310134034.0

008　一般コード化情報

■インディケータ

なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドは 40 桁からなり、桁ごとに規定されたコード化情報を記録する。

●008/00-05：レコード新規作成年月日

・典拠データの新規作成年月日（「yymmdd」形式。yy：西暦下 2 桁　mm：月　dd：日）を記録する。

●008/06：地理区分指示

#　　地理区分不可

・常に「#」を記録する。

●008/07：ローマ字化スキーム

|　　コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/08：目録用言語

|　　コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/09：典拠の種類

a　　典拠が細目以外の場合

・常に「a」を記録する。

●008/10：適用する目録規則

z　　その他

・常に「z」を記録する。

●008/11：適用する件名標目表

z　　その他

・常に「z」を記録する。実際に典拠形アクセス・ポイント（件名）として使用していなくても「z」を記録する。

●008/12：シリーズのタイプ

n　　適用外

・常に「n」を記録する。

●008/13：シリーズの番号付の有無

n　　適用外

・常に「n」を記録する。

●008/14：著作に対する典拠形アクセス・ポイント、典拠形アクセス・ポイント（統一タイトル）および創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントとしての使用可否

a　　使用可

・常に「a」を記録する。細目が付く場合も「a」を記録する。

・家族名典拠および統一タイトル典拠は、実際には典拠形アクセス・ポイント（件名）としてのみ使用しているが、「a」とする。

●008/15：典拠形アクセス・ポイント（件名）としての使用可否

a　　使用可

・常に「a」を記録する。実際に典拠形アクセス・ポイント（件名）として使用していなくても「a」を記録する。

●008/16：典拠形アクセス・ポイント（シリーズ）としての使用可否

b　　使用不可

・常に「b」を記録する。

●008/17：細目の種類

n　　適用外

・常に「n」を記録する。

●008/18-27：未定義

・10 桁分「#」とする。

●008/28：官公庁の種類

f　　中央官庁

l　　地方公共団体

#　　官公庁以外

|　　コード不使用

・団体名典拠および地名典拠（細目付きを除く）について、典拠形アクセス・ポイントが示すものが中央官庁の場合は「f」を、地方公共団体の場合は「l」を、いずれでもない場合は「#」を記録する。

・団体名典拠でも地名典拠でもない場合は、細目付きの地名典拠も含めて「|」とする。

・【2011 年 11 月までに作成したデータ】細目付きの地名典拠で、「#」を記録している場合がある。

●008/29：レファレンス・エヴァリュエーション

|　　コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/30：未定義

・1 桁分「#」とする。

●008/31：レコードの状態

|　　コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/32：個人名典拠がユニークか否か示すコード

a　　個人名がユニークである

n　　適用外

・個人名典拠の場合は常に「a」を記録する。それ以外の場合は家族名典拠を含め「n」を記録する。

●008/33：確定状況

a　　確立

c　　未確立

d　　暫定

・通常は「a」を記録する。当館に書誌実績が存在しないものなど、一部コードが「c」または「d」の典拠が存在する。

●008/34-37：未定義

・4 桁分「#」とする。

●008/38：改変レコード

#　　改変なし

x　　文字の欠落あり（レコード中にゲタ記号（=）が存在する場合）

・典拠データに何らかの改変があるかどうかを、1 桁のコードで記録する。

●008/39：典拠作成機関

#　　全国書誌作成機関

・最初に典拠データを作成した機関の種別を、1 桁のコードで記録する。

・具体的な機関名は、040$a に記録する。

・当館が作成する典拠データについては、常に「#」を記録する。

例 1）

008 910830#||azznnaabn##########||#|aa######

0XX：番号・コードブロック

このブロックには、分類記号、コード、典拠データに関連のあるその他のデータ要素を記録する。

■フィールド一覧

010　米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN）
024　その他の標準識別子
040　典拠作成機関等
065　分類記号

上記以外のフィールドは、不使用。

010　米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN）

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	米国議会図書館典拠レコード管理番号	あれば必須	不可

このフィールドには、2023 年 4 月以降に作成または更新する典拠データのうち、個人名典拠または著作典拠に対応する米国議会図書館の典拠データが存在する場合に米国議会図書館の典拠レコード管理番号（Library of Congress Control Number。以下 LCCN）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●$a：米国議会図書館典拠レコード管理番号

・LCCN を記録する。ただし、LCCN に含まれる半角スペースについては、部分的にまたは全く反映されない場合がある。

例 1）

010 ## $a n#79084664

（米国議会図書館の MARC 21 典拠データの 010$a の値では「n##79084664#」）

024　その他の標準識別子

■第 1 インディケータ：標準番号の種類
　　7　　$2 に情報源を明示

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	標準番号・コード	あれば必須	不可
$2	情報源	NDL 運用上必須	不可

このフィールドには、2023 年 4 月以降に作成または更新する典拠データのうち、個人名典拠に対応する「国際標準名称識別子（International Standard Name Identifier。以下 ISNI）」、「Open Researcher and Contributor ID（以下 ORCID）」、「科学研究費助成事業データベース（KAKEN）の研究者番号（以下「研究者番号」）」、「国立情報学研究所目録所在情報サービスの著者名典拠データ ID（以下「NII 著者名典拠データ ID」）」、国書データベースの著者 ID が存在する場合、および著作典拠に対応する国書データベースの著作 ID が存在する場合に、各番号を記録する。

$2 の値が異なる場合には、番号ごとにフィールドを繰り返す。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：標準番号・コード

・ISNI、ORCID、研究者番号、NII 著者名典拠データ ID、国書データベースの著者 ID または国書データベースの著作 ID を記録する。

●$2：情報源

・$a に記録する値に対応するコードを記録する。MARC 21 Standard Identifier Source Codes に準拠し、以下のとおり適用する。

isni	ISNI
orcid	ORCID
kaken	研究者番号
nii	NII 著者名典拠データ ID
ktga	国書データベースの著者 ID
ktgw	国書データベースの著作 ID

例 1）

```
024 7# $a 0000#0004#1650#3294
        $2 isni
024 7# $a DA02713388
        $2 nii
024 7# $a 80252831
        $2 kaken
024 7# $a 0000-0002-2909-7163
        $2 orcid
```

例 2）

```
024 7# $a 121880
        $2 ktga
```

例 3）

```
024 7# $a 28808
        $2 ktgw
```

040　典拠作成機関等

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	目録作成機関	必須	不可
$b	目録用言語	NDL 運用上必須	不可
$c	目録変換機関	必須	不可
$e	目録規則	NDL 運用上必須	NDL 運用上不可
$f	件名標目表	NDL 運用上必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：目録作成機関
・常に「JTNDL」（MARC 21 MARC Code List for Organizations で国立国会図書館を表すコード）を記録する。

●$b：目録用言語
・常に「jpn」（MARC 21 MARC Code List for Languages で日本語を表すコード）を記録する。

●$c：目録変換機関
・常に「JTNDL」を記録する。

●$e：目録規則

・常に「ncr」（MARC 21 Description Convention Source Codes で「日本目録規則」を表すコード）を記録する。

●$f：件名標目表

・常に「ndlsh」（MARC 21 Subject Heading and Term Source Codes で「国立国会図書館件名標目表」を表すコード）を記録する。

例 1）

040 ## $a JTNDL
$b jpn
$c JTNDL
$e ncr
$f ndlsh

065　分類記号

■第 1 インディケータ：未定義

　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義

　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	分類記号	必須	不可
$2	分類法	NDL 運用上必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

典拠形アクセス・ポイント（件名）が表す主題に相当する代表的な「国立国会図書館分類表」（以下 NDLC）による分類記号および「日本十進分類法」（以下 NDC）による分類記号を記録する。

分類法が同一でも異なっていても、分類記号ごとにフィールドを繰り返す。

NDLC を先に記録する。同一分類法の中では分類体系順に記号を記録する。

●$a：分類記号

・NDLC 分類記号または NDC 分類記号を記録する。

●$2：分類法

・分類法を示すコード。MARC 21 MARC 21 Classification Scheme Source Codes に準拠し、以下のとおり適用する。

　　kktb　　NDLC

　　njb/10　　NDC10 版

　　njb/09　　NDC9 版

　　njb/08　　NDC8 版

例 1）

065 ## $a GC258
$2 kktb
065 ## $a ME352
$2 kktb
065 ## $a 291.84
$2 njb/10
065 ## $a 291.84
$2 njb/09
065 ## $a 517.2184
$2 njb/10
065 ## $a 517.2184
$2 njb/09
151 ## $6 880-01
$a 四万十川

1XX：典拠形アクセス・ポイントブロック

このブロックには、典拠形アクセス・ポイントとして記録する名辞を記録する。以下のフィールドが定義されており、100 から 151 までのいずれかが必須である。

■フィールド一覧

100　典拠形アクセス・ポイント：個人、家族
110　典拠形アクセス・ポイント：団体
130　典拠形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名
151　典拠形アクセス・ポイント：場所

上記以外のフィールドは、不使用。

100　典拠形アクセス・ポイント：個人、家族

■第１インディケータ：実体種別

1　　個人

3　　家族

■第２インディケータ：未定義

#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先名称	必須	不可
$b	世系	あれば必須	不可
$c	識別要素	あれば必須	NDL 運用上不可
$d	生年、没年	あれば必須	不可
$q	展開形	あれば必須	不可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：優先名称

・個人（例 1）または家族（例 2）の優先名称を記録する。

・個人の優先名称は、姓名の順に記録し、姓と名の間をコンマ、スペース“, □”で区切る。姓名形でない場合は、全体を一語として記録する（例 3)。

・敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、$a に含めて記録する（例 4)。

・家族の優先名称に家族のタイプや家族と結びつく場所等の識別要素を付加する場合は、$c には記録せず、$a に丸がっこで付加する（例 2)。

・末尾の区切り記号

①$b が続く　→　区切り記号なし。

②$c または$d が続く　→　コンマ“,”

③$q が続く　→　区切り記号なし。

④$a がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$b：世系

・個人の優先名称に付加する世系を記録する（例 1)。ここに記録する要素には「家系」「屋号」等がある。

・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。

・原則として優先名称で使用した言語で世系を記録し、漢数字・ローマ数字はアラビア数字に置き換えて記録する。ただし、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の世系は、ラテン文字またはラテン文字の組み合わせによりローマ数字を表現して記録する（例 5)。

・【2020 年 12 月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合も、日本語で世系を記録している。

・末尾の区切り記号

①$c または$d が続く　→　コンマ“,”

②$q が続く　→　区切り記号なし。

③$b がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$c：識別要素

・世系、生年および（または）没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合や、識別上必要な生年および（または）没年が判明しない場合は、職業、専攻、初出資料の出版年（月）等をここに記録する（例 6）。

・王族の称号、貴族の称号や聖職者であることを示す語句を記録する。原則として優先名称と同一の言語で記録するが、判明しない場合は日本語で記録する（例 5、例 7、例 8）。

・【2020 年 12 月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合に、優先名称と同一の言語による称号等が判明するときも、日本語で称号等を記録している。

・末尾の区切り記号

①$c がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

②$d が続く　→　コンマ“,”

③$q が続く　→　区切り記号なし。

●$d：生年、没年

・個人の生年および（または）没年を記録する。原則としてすべて西暦で記録するが、生年および（または）没年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を記録することがある（例 3)。

・生年と没年は、ハイフン“－”で結んで記録する。
・生年のみの場合には生年のあとにハイフンを、没年のみの場合には没年の前にハイフンを記録する。
・末尾の区切り記号
①$d“YYYY-”で$c が続く　→　区切り記号なし。
②①以外で$c が続く　→　コンマ“,”
③$d がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$q：展開形
・$a に LC 典拠データの優先名称を採用する場合に、ラテン文字等から成る個人の優先名称またはその一部が、イニシャル、略語、短縮形などであるときは、展開形（完全な形）の全体を丸がっこで囲んで記録する（例 9）。
・上記以外の場合は、展開形（完全な形）を$a に記録し、$q を記録しないことがある。
・末尾の区切り記号
①$c または$d が続く　→　コンマ“,”
②$q がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$6：読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。
・末尾の区切り記号なし。

例 1）

100 1# $6 880-01
$a 歌川,□豊国
$b 4 世,
$d 1823-1880

例 2）

100 3# $6 880-01
$a 上杉□(家)□(米沢市)

例 3）

100 1# $6 880-01
$a 清少納言,
$d 平安時代

例 4)

100 1# $a Overend,□Campbell,□Mrs.

例 5)

100 1# $a Paul
$b VI,
$c Pope,
$d 1897-1978

例 6)

100 1# $6 880-01
$a 鈴木,□健二,
$d 1929-
$c アナウンサー

例 7)

100 1# $a Anne,
$c Queen△of△Great△Britain,
$d 1665-1714

例 8)

100 1# $a Mary,
$c Duchess△of△Gloucester,
$d 1776-1857

例 9)

100 1# $a Kennedy,□A.
$q (Andrew)

110　典拠形アクセス・ポイント：団体

■第１インディケータ：名称の形式
　　2　　直接形

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先名称	必須	不可
$v	形式細目	あれば必須	可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：優先名称
・団体の優先名称を記録する（例 1)。設立年または廃止年、団体の種類、団体と結びつく場所、関係団体を示す語句、書誌作成対象資料（初出資料）の出版（開始）年（月）等の識別要素を付加する場合は、$a に丸がっこで付加する（例 2～6)。

●$v：形式細目
・形式細目を記録する（例 7）。

●$x：主題細目
・主題細目を記録する（例 8）。

●$y：時代細目

・時代細目を記録する。

●$z：地名細目

・地名細目を記録する（例 8)。

●$6：読みの対応関係

・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

例 1）

110 2# $6 880-01

$a 国立国会図書館

例 2）設立年を付加する場合

110 2# $6 880-01

$a 日本総合研究所□(1989 年)

例 3）廃止年を付加する場合

110 2# $6 880-01

$a 民間伝承の会□(-1949 年)

例 4）団体の種類を付加する場合

110 2# $6 880-01

$a 共同通信社□(一般社団法人)

例 5）団体と結びつく場所を付加する場合

110 2# $6 880-01

$a 浅間神社□(富士宮市)

例 6）関係団体を示す語句を付加する場合

110 2# $6 880-01

$a 社会科教育研究会□(東京学芸大学内)

例 7）細目を記録する場合

110 2# $6 880-01

$a 欧州連合

$v 論文集

例 8）細目を記録する場合

110 2# $6 880-01

$a 欧州連合

$x 外国関係

$z 日本

130　典拠形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名

■第１インディケータ：未定義

　　#　　未定義

■第２インディケータ：排列無視文字数

　　0　　排列無視文字なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先タイトル	必須	不可
$n	部編等	あれば必須	可
$v	形式細目	あれば必須	可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。

なお、著作の典拠データにフィールド 500、510 を記録する場合は、フィールド 130 とフィールド 500、510 の組み合わせを典拠形アクセス・ポイントとみなすため、ここには典拠形アクセス・ポイントの部分のみを記録する。

●$ a：優先タイトル

・著者の有無にかかわらず、著作、統一タイトル件名の優先タイトルを記録する（例 1、2）。

・著作における著作の日付等の識別要素や、統一タイトル件名におけるジャンル・形式（例 3、6）や著者（例 4）等を示す限定語句を付加する場合は、サブフィールドで区別せず、$a に丸がっこで付加する。

・末尾の区切り記号

①$a がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

②$n が続く　→　ピリオド“.”（ただし、「！」「？」の直後となる場合は記録しない。

ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

③$v、x、y または z が続く　→　区切り記号なし。

●$n：部編等

・部編等のタイトルを記録する。

・末尾の区切り記号

①$n がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

②$v、x、y または z が続く　→　区切り記号なし。

●$v：形式細目

・形式細目を記録する（例 5）。

・末尾の区切り記号なし。

●$x：主題細目

・主題細目を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●$y：時代細目

・時代細目を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●$z：地名細目

・地名細目を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●$6：読みの対応関係

・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

・末尾の区切り記号なし。

例 1）

130 #0 $6 880-01

$a 純粋理性批判

例 2）

130 #0 $a Le△petit△prince

例 3）ジャンル・形式名を付加する場合

130 #0 $6 880-01

$a ピーナッツ□(漫画)

例 4）著者名を付加する場合

130 #0 $6 880-01

$a 歴史□(Herodotus)

例 5）細目を記録する場合

130 #0 $6 880-01

$a 万葉集

$v 辞書

例 6）ジャンル・形式名を付加し、細目を記録する場合

130 #0 $6 880-01

$a 舞姫□(小説)

$x 評釈

151　典拠形アクセス・ポイント：場所

■第１インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先名称	必須	不可
$v	形式細目	あれば必須	可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：優先名称
・場所の優先名称を記録する。典拠形アクセス・ポイント（件名）としてのみ使用する場所（例 1）のほかに、創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントおよび典拠形アクセス・ポイント（件名）の両方として使用する国名（例 2）や地方公共団体名等（例 3、4）もここに記録する。都道府県名等を付加する場合は、$a に丸がっこで付加する（例 1、4）。

●$v：形式細目
・形式細目を記録する（例 5）。

●$x：主題細目
・主題細目を記録する（例 5）。

●$y：時代細目
・時代細目を記録する（例 5）。

●$z：地名細目
・地名細目を記録する（例 5）。

●$6：読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

例 1）典拠形アクセス・ポイント（件名）としてのみ使用する場所の場合

151 ##$6 880-01
$a 銀座□(東京都中央区)

例 2）創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントおよび典拠形アクセス・ポイント（件名）の両方として使用する国名の場合

151 ## $6 880-01
$a 日本

例 3）地方公共団体名の例

151 ## $6 880-01
$a さいたま市

例 4）村名に都道府県名を付加する場合

151 ## $6 880-01
$a 木島平村□(長野県)

例 5）国名に細目を記録する場合

151 ## $6 880-01
$a 日本
$x 外国関係
$z フランス
$x 歴史
$y 江戸末期
$v 史料

3XX：識別要素ブロック

このブロックには、個人、団体の優先名称以外の識別要素および著作の優先タイトル、創作者以外の識別要素を記録する。

個人について同名異人との識別のために必要な場合は、優先名称に付加する識別要素として、当ブロックではなくフィールド 100 に記録する。

団体について同名異団体および（または）名称が近似した団体との識別等のために必要な場合は、優先名称に付加する識別要素として、フィールド 110 にも記録する。

著作について同一タイトルの異なる著作との識別のために必要な場合は、優先名称に付加する識別要素として、当ブロックではなくフィールド 130 に記録する。

■フィールド一覧

368　　個人または団体のその他の識別要素
370　　場所
372　　活動分野
374　　職業
380　　著作の形式
381　　著作のその他の特性
388　　著作の日付

上記以外のフィールドは、不使用。

368　個人または団体のその他の識別要素

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド NDL 運用上任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$c	その他の識別語句	NDL 運用上あれば必須	可
$d	称号等	NDL 運用上あれば必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$c：その他の識別語句
・団体について、設立年および（または）廃止年、団体の種類、団体と結びつく場所、関係団体を示す語句に該当しない、その他の情報を示す適切な語句を記録する。

●$d：称号等
・個人について、王族の称号、貴族の称号や聖職者であることを示す語句を記録する（例 1）。

例 1）
　　100 1# $a Soraya,
　　$d 1932-2001
　　368 ## $d Princess

370　場所

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$e	所在地等	あれば必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$e：所在地等
・団体の所在地、団体と結びつく国や団体と結びつくその他の場所を記録する（例 1)。

例 1）

110 2# $a Mikuni Co., Limited
370 ## $e 香港

372　活動分野

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	活動分野	必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：活動分野
・個人の職業が大学教員、高等専門学校教員や政府関係機関の研究職である場合に、個人が従事している（していた）活動分野を記録する（例 1)。

例 1)

```
100 1# $6 880-01
        $a 篠沢, 秀夫,
        $d 1933-2017
372 ## $a フランス文学
        $a 文体学
```

374　職業

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	職業	必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：職業
・個人が一般に生業として従事している業種を記録する（例 1)。

例 1）

100 1# $6 880-01
　　$a 安川,□柳渓,
　　$d 1819-1898
374 ## $a 画家
　　$a 詩人
　　$a 郷土史家

380　著作の形式

■第１インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	著作の形式	必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：著作の形式
・その著作の該当する種類やジャンルを記録する。

381　著作のその他の特性

■第１インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	その他の特性	必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：その他の特性
・著作の日付、著作の形式以外の識別要素を記録する。

388　著作の日付

■第 1 インディケータ：著作の日付

1　　著作の最初の日付

■第 2 インディケータ：未定義

#　　未定義

フィールド NDL 運用上任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	日付	NDL 運用上必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：日付

・著作が成立した日付（年代を含む）または情報源から容易にかつ確実に確認できるその体現形について知られている最も早い日付を記録する。西暦年が判明しない場合は、成立した年代を記録する（例 1）。

例 1）

130 #0 $6 880-01
　　$a 大鏡
388 1# $a 平安時代

4XX：異形アクセス・ポイントブロック

このブロックには、異形アクセス・ポイントとして記録する名辞（典拠形アクセス・ポイントとして記録しなかった名辞）を記録する。

■フィールド一覧

400　異形アクセス・ポイント：個人、家族
410　異形アクセス・ポイント：団体
430　異形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名
451　異形アクセス・ポイント：場所

上記以外のフィールドは、不使用。

400　異形アクセス・ポイント：個人、家族

■第１インディケータ：実体種別

1　　個人

3　　家族

■第２インディケータ：未定義

#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	異形名称	必須	不可
$b	世系	あれば必須	不可
$c	識別要素	あれば必須	NDL 運用上不可
$d	生年、没年	あれば必須	不可
$i	名称種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$q	展開形	あれば必須	不可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w：コントロール・サブフィールド

/0：典拠形アクセス・ポイントとの関係

a：旧称

b：新称

d：略称

r：$i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：異形名称

・個人（例 1）または家族（例 2）の異形名称を記録する。

・フィールド 400 に対応するフィールド 880 で優先名称の読みと異なる読みを記録する場合がある（例 3）。
・末尾の区切り記号
①$b が続く　→　区切り記号なし。
②$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合を除く）または$d が続く　→　コンマ“,”
③$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合）または$q が続く　→　区切り記号なし。
④$a がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$b：世系
・個人の異形名称に付加する世系を記録する（例 1）。
・日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称に付加する世系を、ラテン文字またはラテン文字の組み合わせによりローマ数字を表現して記録した場合は、その世系をアラビア数字に置き換えた形を記録する。
・末尾の区切り記号
①$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合を除く）または$d が続く　→　コンマ“,”
②$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合）または$q が続く　→　区切り記号なし。
③$b がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$c：識別要素
・世系、生年および（または）没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合、または識別上必要な生年および（または）没年が判明しない場合に、個人の異形名称の職業、専攻、初出資料の出版年（月）、称号等を記録する。
・日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の職業、専攻の場合に、全体を丸がっこで囲んで記録することがある。
・末尾の区切り記号
①$c がフィールド末尾　→　区切り記号なし。
②$d が続く　→　コンマ“,”
③$q が続く　→　区切り記号なし。

●$d：生年、没年
・個人の生年および（または）没年を記録する。
・末尾の区切り記号
①$d“YYYY-”で$c が続く　→　区切り記号なし。
②$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合）が続く　→　区切り記号なし。
③①②以外で$c が続く　→　コンマ“,”
④$d がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

・$b、$c、$d は、優先名称の$b、$c、$d と異なる場合に記録する（例 1）。

●$i：名称種類
・優先名称と異形名称の関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する（例 4）。この場合、$w に r を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$q：展開形
・ラテン文字等から成る個人の異形名称またはその一部が、イニシャル、略語、短縮形などである場合に、展開形（完全な形）の全体を丸がっこで囲んで記録することがある。
・末尾の区切り記号
①$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合を除く）または$d が続く　→　コンマ“,”
②$c（全体を丸がっこで囲んで記録する場合）が続く　→　区切り記号なし。
③$q がフィールド末尾　→　区切り記号なし。

●$w：コントロール・サブフィールド
・優先名称と異形名称の関係をコード値で記録する。
・異形名称が優先名称の旧称、新称、略称に当たる場合は、それぞれ a、b、d を記録する（例 1）。この場合、$i は記録しない。
・名称種類の記録が必要な場合は r と記録し、$i に名称種類を文字列で記録する（例 4）。
・末尾の区切り記号なし。

●$6：読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。
・末尾の区切り記号なし。

例 1）旧称を記録する場合（$b は記録するが$d は記録しない例）

100 1# $6 880-01
　　$a 三遊亭,□円右
　　$b 初代,
　　$d 1860-1924
400 1# $6 880-02
　　$w a
　　$a 三遊亭,□円朝
　　$b 2 代目

例 2）

100 3# 6 880-01

$a 中島□(氏)

400 3# $6 880-02

$a 中嶋□(氏)

例 3）読みの違いを記録する場合

100 1# $6 880-01

$a 原,□敬,

$d 1856-1921

400 1# $6 880-02

$a 原,□敬

880 1# $6 100-01/$1

$a ハラ,□タカシ,

$d 1856-1921

880 1# $6 100-01/(B

$a Hara,□Takashi,

$d 1856-1921

880 1# $6 400-02/$1

$a ハラ,□ケイ

880 1# $6 400-02/(B

$a Hara,□Kei

例 4）

100 1# $6 880-01

$a 高森,□朝雄,

$d 1936-1987

400 1# $6 880-02

$w r

$i 本名

$a 高森,□朝樹

例 5）日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の名称の片仮名表記を記録する場合

100 1# $a Dostoevskii,□Fedor△Mikhailovich,

$d 1821-1881

400 1# $a ドストエフスキー

例 6）表記、文字種の違いを記録する場合

100 1# $6 880-01

$a 金子,□みすゞ,

$d 1903-1930

400 1# $a 金子,□みすず

410　異形アクセス・ポイント：団体

■第１インディケータ：名称の形式
　　2　　直接形

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	異形名称	必須	不可
$i	名称種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$v	形式細目	あれば必須	可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w：コントロール・サブフィールド
　　/0：典拠形アクセス・ポイントとの関係
　　a：旧称
　　b：新称
　　d：略称
　　r：$i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：異形名称
・団体の異形名称を記録する（例 1、3～6）。

・フィールド 410 に対応するフィールド 880 で優先名称の読みと異なる読みを記録する場合がある（例 2）。

●$i：名称種類
・優先名称と異形名称の関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する（例 3）。この場合、$w に r を記録する。

●$v：形式細目
・形式細目を記録する。

●$w：コントロール・サブフィールド
・優先名称と異形名称の関係をコード値で記録する。
・異形名称が優先名称の旧称、新称、略称に当たる場合は、それぞれ a、b、d を記録する（例 1、4）。この場合、$i は記録しない。
・名称種類の記録が必要な場合は、r を記録し、$i に名称種類を文字列で記録する（例 3）。

●$x：主題細目
・主題細目を記録する。

●$y：時代細目
・時代細目を記録する。

●$z：地名細目
・地名細目を記録する。

●$6：読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

例 1）旧称「東京動物学会」、英語名「Zoological Society of Japan」、略称「ZSJ」を記録する場合

110 2# $6 880-01
　　$a 日本動物学会
410 2#$w a
　　$a 東京動物学会
410 2# $a Zoological△Society△of△Japan
410 2# $w d

$a ZSJ

例 2）読みの違いを記録する場合

110 2# $6 880-01

$a 自然共生フォーラム 21

410 2# $6 880-02

$a 自然共生フォーラム 21

880 2# $6 110-01/$1

$a シゼン△キョウセイ△フォーラム△21

880 2# $6 110-01/(B

$a Shizen△Kyosei△Foramu△21

880 2# $6 410-02/$1

$a シゼン△キョウセイ△フォーラム△ニジュウイチ

880 2# $6 410-02/(B

$a Shizen△Kyosei△Foramu△Nijuichi

例 3）

110 2# $6 880-01

$a 東大阪市立埋蔵文化財センター

410 2# $w r

$i 愛称

$a 発掘ふれあい館

例 4）

110 2# $6 880-01

$a アメリカ合衆国航空宇宙局

410 2# $a U. S.△National△Aeronautics△and△Space△Administration

410 2# $w d

$a NASA

例 5）典拠形アクセス・ポイントから法人格、設置団体等を省いた形を記録する場合

110 2# $6 880-01

$a 丸善雄松堂株式会社

410 2# $a 丸善雄松堂

例 6）上位の組織名と一体の形を記録する場合

110 2# $6 880-01

$a 国際日本文化研究センター

410 2# $a 人間文化研究機構国際日本文化研究センター

430　異形アクセス・ポイント：著作、統一タイトル件名

■第１インディケータ：未定義

　　#　　未定義

■第２インディケータ：排列無視文字数

　　0　　排列無視文字なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	異形タイトル	必須	不可
$i	名称種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$n	部編等	あれば必須	可
$v	形式細目	あれば必須	可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w：コントロール・サブフィールド

　　/0：典拠形アクセス・ポイントとの関係

　　a：旧称

　　b：新称

　　d：略称

　　r：$i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：異形タイトル

・著作、統一タイトル件名の異形タイトルを記録する（例 1、3、4）。

・末尾の区切り記号
①$a がフィールド末尾　→　区切り記号なし。
②$n が続く　→　ピリオド“.”（ただし、「！」「？」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）
③$v、x、y または z が続く　→　区切り記号なし。

●$i：名称種類
・異形タイトルが原名称（原タイトル）である場合は、ここに「原名称」と記録する（例 2）。この場合、$w に r を記録する。
・異形タイトルが「基本件名標目表（BSH）」に収載された件名である場合は、ここに BSH の ID（レコード識別番号）を「BSH4:□ID」の形で記録する（例 1）。
・末尾の区切り記号なし。

●$n：部編等
・異形タイトルの部編等のタイトルを記録する。
・末尾の区切り記号
①$n がフィールド末尾　→　区切り記号なし。
②$v、x、y または z が続く　→　区切り記号なし。

●$v：形式細目
・異形タイトルの形式細目を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$w：コントロール・サブフィールド
・優先タイトルと異形タイトルの関係をコード値で記録する。
・異形タイトルが優先タイトルの旧称、新称、略称に当たる場合は、それぞれ a、b、d を記録する。
・異形タイトルが原名称または BSH に収録された件名である場合は、r と記録し、$i に「原名称」等と文字列で記録する（例 1、2）。
・末尾の区切り記号なし。

●$x：主題細目
・異形タイトルの主題細目を記録する（例 1）。
・末尾の区切り記号なし。

●$y：時代細目

・異形タイトルの時代細目を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$z：地名細目
・異形タイトルの地名細目を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$6：読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。
・末尾の区切り記号なし。

例 1）

130 #0 $6 880-01
　　$a ローマ人への手紙
430 #0 $6 880-02
　　$w r
　　$i BSH4:□00587100
　　$a 聖書
　　$x 新約
　　$x ロマ書
430 #0 $6 880-03
　　$a ローマの信徒への手紙

例 2）

130 #0 $6 880-01
　　$a 二十四時間の情事□(映画)
430 #0 $w r
　　$i 原名称
　　$a Hiroshima△mon△amour

例 3）

130 #0 $6 880-01
　　$a 今昔物語集
430 #0 $6 880-02
　　$a 今昔物語

例 4)

130 #0 $a Le△petit△prince

430 #0 $6 880-01

$a 星の王子さま

451　異形アクセス・ポイント：場所

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	異形名称	必須	不可
$i	名称種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$v	形式細目	あれば必須	可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w：コントロール・サブフィールド
　　/0：典拠形アクセス・ポイントとの関係
　　a：旧称
　　b：新称
　　d：略称
　　r：$i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：異形名称
・場所の異形名称を記録する（例 1）。

●$i：名称種類

・異形名称の種類を記録する。この場合、$w に r を記録する。

・異形名称が「米国議会図書館件名標目表（LCSH)」または「基本件名標目表（BSH)」に収載された件名である場合は、それぞれの典拠レコード管理番号等を「LCCN:□ID（レコード識別番号)」、「BSH4:□ID（レコード識別番号)」の形で記録する（例 2)。

●$v：形式細目

・異形名称の形式細目を記録する。

●$w：コントロール・サブフィールド

・優先名称と異形名称の関係をコード値で記録する。

・異形名称が優先名称の旧称、新称、略称に当たる場合は、それぞれ a、b、d を記録する（例 3)。

・名称種類の記録が必要な場合は、r を記録し、$i に名称種類を記録する（例 2)。

●$x：主題細目

・異形名称の主題細目を記録する。

●$y：時代細目

・異形名称の時代細目を記録する。

●$z：地名細目

・異形名称の地名細目を記録する。

●$6：読みの対応関係

・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

例 1)

151 ## $6 880-01
　　$a 四万十川
451 ## $6 880-02
　　$a 渡川

例 2)

151 ## $6 880-01

$a 日本

451 ## $w r

$i LCCN:□n78089021

$a Japan

例 3）旧称「東利尻町□(北海道)」を記録する場合

151 ## $6 880-01

$a 利尻富士町□(北海道)

451 ## $6 880-02

$w a

$a 東利尻町□(北海道)

5XX：関連リンクブロック

このブロックには、典拠形アクセス・ポイント（フィールド 1XX）として記録する名辞とほかの典拠データの典拠形アクセス・ポイント（フィールド 1XX）として記録する名辞の間の関連を記録する。

■フィールド一覧

500　関連リンク：個人、家族
510　関連リンク：団体
530　関連リンク：著作
551　関連リンク：場所

上記以外のフィールドは、不使用。

500　関連リンク：個人、家族

■第１インディケータ：実体種別

1　　個人

3　　家族

■第２インディケータ：未定義

#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先名称	必須	不可
$b	世系	あれば必須	不可
$c	識別要素	あれば必須	不可
$d	生年、没年	あれば必須	不可
$i	関連の詳細な種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$q	展開形	あれば必須	不可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$0	リンク先典拠レコード管理番号	必須	NDL 運用上不可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w: コントロール・サブフィールド

/0: 関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係

a: 旧称

b: 新称

r: $i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a: 優先名称

・関連先の個人または家族の優先名称を記録する（例 1、2)。

・末尾の区切り記号
①$b が続く　→　区切り記号なし。
②$c または$d が続く　→　コンマ“,”
③$q が続く　→　区切り記号なし。
④$0 が続く　→　区切り記号なし。

●$b: 世系
・関連先の個人の優先名称に付加する世系を記録する（例 2)。
・末尾の区切り記号
①$c または$d が続く　→　コンマ“,”
②$q が続く　→　区切り記号なし。
③$0 が続く　→　区切り記号なし。

●$c: 識別要素
・関連先の個人の識別要素を記録する。世系、生年および（または）没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合、または識別上必要な生年および（または）没年が判明しない場合に、職業、専攻、初出資料の出版年（月）、称号等を記録する。
・末尾の区切り記号
①$c がフィールド末尾　→　区切り記号なし。
②$d が続く　→　コンマ“,”
③$q が続く　→　区切り記号なし。

●$d: 生年、没年
・関連先の個人の生年および（または）没年を記録する（例 1、2）
・末尾の区切り記号
①$d“YYYY-”で$c が続く　→　区切り記号なし。
②①以外で$c が続く　→　コンマ“,”
③$0 が続く　→　区切り記号なし。

●$i: 関連の詳細な種類
・関連元の典拠形アクセス・ポイントと関連先の典拠形アクセス・ポイントの関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する。
ア）　個人間の関連を記録する場合
・関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子「別名」、「本名」、「筆名」、「号」のいずれかを文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する（$w を参照のこと）（例 1)。
・「別名」を記録する場合は、必要に応じて関連のより詳細な種類を 680$i に記録する（680$i

を参照のこと)。
・末尾の区切り記号なし。
イ)　著作と個人の関連を記録する場合
・関連の詳細な種類を示す語句として、以下の表で示す関連指示子のいずれかを文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する（$w を参照のこと）(例 3)。ただし、適切な関連指示子がないか、または容易に判断できない場合は、$w:r、$i は記録しない。
（関連指示子については、「国立国会図書館『日本目録規則 2018 年版』「付録 C.1、C.2、C.4」適用細則（2021 年 1 月)」の「#C.2.1A　創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」を参照のこと。）
・末尾の区切り記号なし。

表　500$i サブフィールドに記録する関連指示子（著作と個人の関連を記録する場合）

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
作曲者
写真撮影者
地図製作者
著者
脚本作者
作詞者
デザイナー
美術制作者
振付者
編纂者
口述者

●$q: 展開形
・関連先の個人の優先名称がラテン文字等から成り、その全体または一部がイニシャル、略語、短縮形等である場合は、展開形（完全な形）の全体を丸がっこで囲んで記録する。
・末尾の区切り記号
①$c または$d が続く　→　コンマ“,”
②$0 が続く　→　区切り記号なし。

●$w: コントロール・サブフィールド
・関連元の典拠形アクセス・ポイントと関連先の典拠形アクセス・ポイントの関係をコード

値で記録する。

ア）個人間の関連を記録する場合

・関連先の典拠形アクセス・ポイントが旧称、新称に当たる場合は、それぞれ a、b を記録する（例 2)。この場合、$i は記録しない。

・関連先の典拠形アクセス・ポイントが旧称、新称以外の場合は、r を記録する。この場合、$i に関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子を文字列で記録する（$i ア）を参照のこと）（例 1)。

・末尾の区切り記号なし。

イ）著作と個人の関連を記録する場合

・r を記録する。この場合、$i に関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子を記録する（$i イ）を参照のこと）（例 3)。ただし、適切な関連指示子がないか、または容易に判断できない場合は、$w:r、$i は記録しない。

・末尾の区切り記号なし。

●$0: リンク先典拠レコード管理番号

・関連先の個人名典拠の典拠レコード管理番号を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●$6: 読みの対応関係

・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

・末尾の区切り記号なし。

例 1）

100 1# $6 880-01
　　$a 鈴木,□有二,
　　$d 1949-
500 1# $6 880-02
　　$w r
　　$i 別名
　　$a ガッツ石松,
　　$d 1949-
　　$0 00005778
680 ## $i 「ガッツ石松」はリングネーム

例 2)「中村, 鴈治郎 3 世, 1931-2020」に旧称「中村, 扇雀 2 世, 1931-2020」、新称「坂田, 藤十郎 4 世, 1931-2020」との関連を記録する

100 1# $6 880-01

$a 中村,□鴈治郎

$b 3 世,

$d 1931-2020

500 1# $6 880-02

$w a

$a 中村,□扇雀

$b 2 世,

$d 1931-2020

$0 00051933

500 1# $6 880-03

$w b

$a 坂田,□藤十郎

$b 4 世,

$d 1931-2020

$0 01014871

例 3）著作「Le petit prince」に創作者（著者）「Saint-Exupéry, Antoine de, 1900-1944」との関連を記録する

130 #0 $a Le△petit△prince

500 1# $w r

$i 著者

$a Saint-Exupéry,□Antoine△de,

$d 1900-1944

$0 00455153

510　関連リンク：団体

■第１インディケータ：名称の形式

　　2　　直接形

■第２インディケータ：未定義

　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先名称	必須	不可
$i	関連の詳細な種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$v	形式細目	あれば必須	可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$0	リンク先典拠レコード管理番号	必須	NDL 運用上不可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w: コントロール・サブフィールド

　　/0: 関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係

　　a: 旧称

　　b: 新称

　　r: $i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a: 優先名称

・関連先の団体に対する典拠形アクセス・ポイントの優先名称を記録する（例 1、2)。設立年または廃止年、団体と結びつく場所、書誌作成対象資料（初出資料）の出版（開始）年（月）等の識別要素を付加する場合は、$a に丸がっこで付加する。

●$i: 関連の詳細な種類

・関連元の著作に対する典拠形アクセス・ポイントと関連先の団体に対する典拠形アクセス・ポイントの関係が公刊資料等から明らかな場合に、その関係を文字列で記録する。

・関連の詳細な種類を示す用語として、以下の表で示す関連指示子のいずれかを文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する（$w イ）を参照のこと）(例 2)。ただし、適切な関連指示子がないか、または容易に判断できない場合は、$w:r、$i は記録しない。

（関連指示子については、「国立国会図書館『日本目録規則 2018 年版』「付録 C.1、C.2、C.4」適用細則（2021 年 1 月)」の「#C.2.1A　創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」を参照のこと。）

表　510$i サブフィールドに記録する関連指示子（著作と団体の関連を記録する場合）

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
作曲者
写真撮影者
制定法域団体
地図製作者
著者
脚本作者
作詞者
デザイナー
美術制作者
振付者
編纂者
口述者

●$v：形式細目

・関連先の団体の形式細目を記録する。

●$w: コントロール・サブフィールド

・関連元の典拠形アクセス・ポイントと関連先の典拠形アクセス・ポイントの関係をコード

値で記録する。

ア） 団体間の関連を記録する場合

・関連先の典拠形アクセス・ポイントが旧称、新称に当たる場合は、それぞれ a、b を記録する（例 1）。この場合、$i は記録しない。

イ） 著作と団体の関連を記録する場合

・r を記録する。この場合、$i に関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子を記録する（$i を参照のこと）（例 2）。ただし、適切な関連指示子がないか、または容易に判断できない場合は、$w:r、$i は記録しない。

●$x：主題細目

・関連先の団体の主題細目を記録する。

●$y：時代細目

・関連先の団体の時代細目を記録する。

●$z：地名細目

・関連先の団体の地名細目を記録する。

●$0: リンク先典拠レコード管理番号

・関連先の団体名典拠の典拠レコード管理番号を記録する。

●$6: 読みの対応関係

・「５． 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1）「動力炉核燃料開発事業団」に新称「核燃料サイクル開発機構」との関連を記録する場合

110 2# $6 880-01
　　$a 動力炉核燃料開発事業団
510 2# $6 880-06
　　$w b
　　$a 核燃料サイクル開発機構
　　$0 00691083

例 2）著作「GEO5」に創作者（著者）「国際連合環境計画」との関連を記録する場合

130 #0 $a GEO5
510 2# $6 880-06

$w r

$i 著者

$a 国際連合環境計画

$0 00288559

530　関連リンク：著作

■第１インディケータ：未定義

　　#　　未定義

■第２インディケータ：排列無視文字数

　　0　　排列無視文字なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先タイトル	必須	不可
$i	関連の詳細な種類	あれば必須	NDL 運用上不可
$n	部編等	あれば必須	可
$v	形式細目	あれば必須	可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$0	リンク先典拠レコード管理番号	必須	NDL 運用上不可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w：コントロール・サブフィールド

　　/0：関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係

　　r：$i に関係を明示

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a: 優先タイトル

・関連先の著作に対する典拠形アクセス・ポイントの優先タイトルを記録する。著作の日付等の識別要素を付加する場合は、$a に丸がっこで付加する。

・末尾の区切り記号

①$a がフィールド末尾　→　区切り記号なし。
②$n が続く　→　ピリオド“.”（ただし、「！」「？」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）
③$v、x、y または z が続く　→　区切り記号なし。

●$i: 関連の詳細な種類
・関連元の著作に対する典拠形アクセス・ポイントと関連先の著作に対する典拠形アクセス・ポイントの関係を記録する。
・関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子「上位」、「下位」のいずれかを文字列で記録する。この場合、$w に r を記録する（$w を参照のこと）。
・末尾の区切り記号なし。

●$n: 部編等
・関連先の著作に対する典拠形アクセス・ポイントの部編等のタイトルを記録する。
・末尾の区切り記号
①$n がフィールド末尾　→　区切り記号なし。
②$v、x、y または z が続く　→　区切り記号なし。

●$v: 形式細目
・関連先の著作の形式細目を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$w: コントロール・サブフィールド
・関連元の著作に対する典拠形アクセス・ポイントと関連先の著作に対する典拠形アクセス・ポイントの関係をコード値で記録する。
・関連先の著作に対する典拠形アクセス・ポイントが関連元の著作に対する典拠形アクセス・ポイントの全体または部分に当たる場合は、r を記録する。この場合、$i に関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子を記録する（$i を参照のこと）。
・末尾の区切り記号なし。

●$x: 主題細目
・関連先の著作の主題細目を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$y: 時代細目
・関連先の著作の時代細目を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●$z: 地名細目
・関連先の著作の地名細目を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$0: リンク先典拠レコード管理番号
・関連先の著作典拠の典拠レコード管理番号を記録する。
・末尾の区切り記号なし。

●$6: 読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。
・末尾の区切り記号なし。

551　関連リンク：場所

■第１インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	優先名称	必須	不可
$v	形式細目	あれば必須	可
$w	コントロール・サブフィールド*1	あれば必須	不可
$x	主題細目	あれば必須	可
$y	時代細目	あれば必須	可
$z	地名細目	あれば必須	可
$0	リンク先典拠レコード管理番号	必須	NDL 運用上不可
$6	読みの対応関係	あれば必須	不可

*1　$w: コントロール・サブフィールド
　　/0: ：関連先の典拠形アクセス・ポイントとの関係
　　a: 旧称
　　b: 新称
　　g: 上位語
　　h: 下位語

フィールド末尾には区切り記号なし。またすべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a: 優先名称
・関連先の場所に対する典拠形アクセス・ポイントの優先名称を記録する（例 1)。都道府

県名等を付加する場合は、$a に丸がっこで付加する。

●$v: 形式細目
・関連先の場所の形式細目を記録する。

●$w: コントロール・サブフィールド
・関連元の場所に対する典拠形アクセス・ポイントと、関連先の場所に対する典拠形アクセス・ポイントの関係をコード値で記録する。
・関連先の場所に対する典拠形アクセス・ポイントが、旧称、新称に当たる場合は、それぞれ a、b を記録する。上位語の場合は g、下位語の場合は h を記録する（例 1)。関連語の場合は、$w は記録しない。

●$x: 主題細目
・関連先の場所の主題細目を記録する（例 1)。

●$y: 時代細目
・関連先の場所の時代細目を記録する（例 1)。

●$z: 地名細目
・関連先の場所の地名細目を記録する。

●$0: リンク先典拠レコード管理番号
・関連先の地名典拠の典拠レコード管理番号を記録する。

●$6: 読みの対応関係
・「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

例 1)「日本 -- 歴史 -- 昭和時代」に上位語「日本 -- 歴史 -- 明治以後」、下位語「日本 -- 歴史 -- 昭和前期」「日本 -- 歴史 -- 昭和後期」との関連を記録する場合

151 ## $6 880-01
　　$a 日本
　　$x 歴史
　　$y 昭和時代
551 ## $6 880-03
　　$w g
　　$a 日本

$x 歴史

$y 明治以後

$0 00568295

551 ## $6 880-04

$w h

$a 日本

$x 歴史

$y 昭和前期

$0 01034578

551 ## $6 880-05

$w h

$a 日本

$x 歴史

$y 昭和後期

$0 01034579

6XX：注記ブロック

このブロックには、典拠形アクセス・ポイントを決定する際の根拠とした出典や注記等の説明・管理要素を記録する。

■フィールド一覧

670　出典
675　推量読み等
678　来歴
680　一般注記
682　標目訂正に関する注記

上記以外のフィールドは、不使用。

670　出典

■第１インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第２インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	出典	必須	不可
$b	情報源等	あれば必須	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。

●$a：出典
・新規に典拠を作成した際の記述対象資料のタイトル、出版日付を当サブフィールドに記録する（例 1)。
・【2011 年 11 月までに作成したデータ】新規に典拠を作成した際の記述対象資料のタイトルが、部編番号、部編名、巻次、責任表示とともに記録されている場合や、請求記号とともに記録されている場合がある。
・末尾の区切り記号
①末尾にほかの記号がなく$b が続き、かつ$b の先頭に記号がない　→　コロン“：”
②上記以外　→　区切り記号なし

＜個人名典拠＞
・典拠形アクセス・ポイント（優先名称、読み、世系、生没年、識別要素）の根拠を記述対象資料以外の公刊資料等から採用する場合は、フィールドを繰り返して記録する。この場合、参照した公刊資料等の名称を$a に記録し、何に関する情報であるかを$b に丸がっこで付加する（例 2)。このフィールドには公刊資料等から判明した事項のみを記録し、「推量読み」「日本語読み」といった情報は、フィールド 675（推量読み等）に記録する。

・個人の優先名称で、国書データベースの著者レコードを参考に作成した場合は、フィールドを繰り返して「KOKUSHOA:□」に続けて著者 ID を記録する。
・日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称で、米国議会図書館の典拠データを参考に作成した場合は、フィールドを繰り返して「LCCN:□」に続けて米国議会図書館の典拠レコード管理番号（Library of Congress Control Number）を記録する（例 3)。この場合、原則として$b は記録しない。

＜団体名典拠＞
・優先名称の根拠を記述対象資料以外に求めた場合は、フィールドを繰り返して出典を記録する（例 4)。
・団体の優先名称に含まれる固有名の読みを参考資料で確認した場合は、フィールドを繰り返してその資料名を$a に記録する。

＜著作典拠＞
・優先タイトルを米国議会図書館の典拠データを参考に作成した場合は、フィールドを繰り返して「LCCN:□」に続けて米国議会図書館の典拠レコード管理番号（Library of Congress Control Number）を記録する。
・著作典拠に対応する米国議会図書館の著作の典拠データが存在する場合は、米国議会図書館の典拠レコード管理番号（Library of Congress Control Number）をフィールド 010（米国議会図書館典拠レコード管理番号）に記録する（例 5)。
・優先タイトルを国書データベースの著作レコードを参考に作成した場合は、フィールドを繰り返して「KOKUSHO:□」に続けて著作 ID を記録する（例 5)。
・著作典拠に対応する国書データベースの著作レコードが存在する場合は、フィールド 024（その他の標準識別子）に記録する（例 5)。
・2023 年 3 月以降、国書データベースの著作 ID の接頭語を「KOTEN:□」から「KOKUSHO:□」に変更した。

＜個人名典拠、団体名典拠、著作典拠以外＞
・典拠形アクセス・ポイントの根拠として採用した参考図書類等を、フィールドを繰り返して記録する（例 6)。

●$b：情報源等
・個人名典拠・団体名典拠で使用する。情報源および判明した情報を記録する（例 2)。ただし、情報源が記述対象資料の優先情報源（各適用細則で「優先情報源」として規定している部分）または資料自体の他の情報源（各適用細則で「資料自体の他の情報源」として規定している部分）のうちの本文、カバー、帯等以外の情報源である場合は省略する。

・末尾の区切り記号なし。
・【2011 年 11 月までに作成したデータ】$b は使用せず、情報源等も$a に記録している。

例 1）

100 1# $a Rowling,□J.△K,
$d 1965-
670 ## $a ハリー・ポッターと賢者の石,□1999.12

例 2）

100 1# $6 880-01
$a 村山,□長挙,
$d 1894-1977
670 ## $a みゆかり,□1987.8:
$b 本文□(生没年)
670 ## $a 20 世紀日本人名事典
$b (読み)
880 1# $6 100-01/$1
$a ムラヤマ,□ナガタカ,
$d 1894-1977
880 1# $6 100-01/(B
$a Murayama,□Nagataka,
$d 1894-1977
※この場合、名称は初出資料の本体から判明したとみなす。

例 3）

010 ## $a nr#00004679
100 1# $a Bridge,□Horatio,
$d 1806-1893
670 ## $a アフリカ巡航者の日誌,□2022.10
670 ## $a LCCN:□nr#00004679

例 4）

110 2# $6 880-01
$a くりはら田園鉄道株式会社
670 ## $a サヨナラ!くりでん,□2007.3
670 ## $a 当該団体ホームページ□(20070905)

例 5）

010 ## $a n81062039

024 7# $a 28808

$2 ktgw

130 #0 $6 880-01

$a 今昔物語集

670 ## $a KOKUSHO:□28808

例 6）典拠形アクセス・ポイントの根拠として参考図書を採用した例

151 ## $6 880-01

$a 三国街道

670 ## $a 三国街道永井宿笛木家記録,□2003.11

670 ## $a コンサイス地名辞典△日本編

675　推量読み等

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	推量読み等	必須	可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●$a：推量読み等
・個人の優先名称の読みが公刊資料等から判明せず推量読みを採用した場合（例 1）や、個人の優先名称を推量とした場合（例 2）は、その旨を記録する。
・【2011 年 11 月までに作成したデータ】推量読み等をフィールド 670（出典）$a に記録している。フィールド 670（出典）$a に「日本語読み」と記録していることがある。
・【2020 年 12 月までに作成したデータ】ここに「日本語読み」と記録していることがある。

例 1）

100 1# $6 880-01
　　$a 松野,□直純,
　　$d 1766-
675 ## $a 推量読み

例 2）

100 1# $6 880-01
　　$a Otchere,□Isaac
675 ## $a 名称は推量

678　来歴

■第１インディケータ：データ種別

0　　個人の履歴・家族の歴史

1　　団体・場所の沿革

■第２インディケータ：未定義

#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$a	来歴	必須	NDL 運用上不可
$b	来歴の根拠	任意	不可

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●$a：来歴

・以下の情報を記録する。

＜個人名典拠＞

・典拠形アクセス・ポイントに含めない生年を記録する。左記の生年の根拠は$b に記録する（例 1)。

・所属または主催する団体や結社名（例 1)、資格、賞歴等（例 3）を記録する。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】職業や活動分野等をここに記録している。

・複数の個人による共有筆名で、姓と名のように慣用されている名称と判明した場合に記録する。

・典拠形アクセス・ポイントに含めない生年、所属、賞歴、共有筆名等、性質の異なる情報は、フィールドを繰り返して記録する（例 1)。

＜団体名典拠＞

・団体の種類、データ作成者の注記、設立年および（または）廃止年、経緯や変遷等の沿革を記録する（例 2)。性質の異なる情報は、フィールドを繰り返して記録する。

●$b：来歴の根拠

・$a に記録した情報の根拠が必要な場合は、ここに記録する（例 1)。

例 1）

678 0# $a 1914- $b 文化人名録△第 26 版

678 0# $a 日本作詩家協会所属

例 2）

678 1# $a 2003 年 4 月名称変更

678 1# $a 2007 年 1 月特定非営利活動法人化

例 3）賞歴を記録する場合

678 0# $a 第 24 回新潮新人賞受賞

680　一般注記

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$i	一般注記	必須	NDL 運用上不可

フィールド末尾には区切り記号なし。
【2020 年 12 月までに作成したデータ】他の記号が末尾になければ、フィールド末尾にピリオド“.”を付している。

●$i：一般注記
・一般注記はここに記録する（例 1）。ただし個人・団体の来歴を表すものは、フィールド 678（来歴）に記録する。
・フィールド 500（関連リンク）$w に r、$i に「別名」を記録した場合に、必要に応じて個人間の関連のより詳細な種類をここに記録する（例 2）。

例 1）
　　680 ## $i 分離独立前のチェコスロバキアには「チェコスロバキア」（典拠 ID:□00573587)を使用

例 2）
　　680 ## $i ガッツ石松はリングネーム

682　標目訂正に関する注記

■第 1 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

■第 2 インディケータ：未定義
　　#　　未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$i	標目訂正に関する注記	必須	可

このフィールドには、標目訂正（典拠形アクセス・ポイントの訂正）に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】他の記号が末尾になければ、フィールド末尾、サブフィールド末尾にピリオド“.”を付している。

●$i：標目訂正に関する注記

・標目訂正に関する情報を記録する。記録すべき情報が複数ある場合は、サブフィールドを繰り返して記録する。新しい訂正注記は、一番先頭に記録する（例 1）。また、一度に複数の情報を訂正する場合は、①1XX$a②1XX$a の読み③1XX のその他のサブフィールドに記録するエレメントの順に$i を繰り返して記録する。

・標目訂正前の形と訂正後の形を、訂正日付（「yyyymmdd（西暦年、月、日）」形式）と共に記録する。

例 1）

682 ## $i セイロン→スリランカ□(20040218)
　　$i ビルマ→ミャンマー□(20020116)

例 2）

682 ## $i ダイドウ→オオミチ□(20060529)
$i 没年追加□(20060529)

例 3）同一典拠形アクセス・ポイントのまま典拠の種類を変更する場合
682 ## $i 団体→場所□(20210201)

8XX：代替文字種表現ブロック

このブロックには代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）を記録する。

■フィールド一覧

880　　代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）

上記以外のフィールドは、不使用。

880　代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）

■インディケータ

対応するフィールドのインディケータと同じ

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード		要求度	繰り返し
$6	読みの対応関係	必須	不可
上記以外のサブフィールドは、対応するフィールドのサブフィールドと同じ（フィールド 5XX の$i を除く）			

このフィールドには、正規フィールド（フィールド 5XX の$i を除く）に対応する片仮名読み形およびローマ字読み形を記録する（例 1、2)。詳細は「５．　読みの表現方法」を参照のこと。

フィールド・サブフィールド末尾の区切り記号は、対応するフィールドの規定に従う。

●$6：読みの対応関係

・正規フィールドと読み形フィールドとの対応関係は、正規フィールド、読みフィールドの$6 に下記のとおりの値を格納することにより表現する。

正規フィールド：読み形フィールド番号-オカレンス番号
読みフィールド（片仮名読み形）：正規フィールド番号-オカレンス番号/$1
読みフィールド（ローマ字読み形）：正規フィールド番号-オカレンス番号/(B

例 1）

100 1# $6 880-01
　　$a 栗本,□薫,
　　$d 1953-2009
500 1# $6 880-02
　　$a 中島,□梓,
　　$d 1953-2009

$0 00104727

880 1# $6 100-01/$1

$a クリモト,□カオル,

$d 1953-2009

880 1# $6 100-01/(B

$a Kurimoto,□Kaoru,

$d 1953-2009

880 1# $6 500-02/$1

$a ナカジマ,□アズサ,

$d 1953-2009

$0 00104727

880 1# $6 500-02/(B

$a Nakajima,□Azusa,

$d 1953-2009

$0 00104727

例 2)

151 ## $6 880-01

$a 三国街道

451 ## $6 880-02

$a 三国通り

880 ## $6 151-01/$1

$a ミクニ△カイドウ

880 ## $6 151-01/(B

$a Mikuni△Kaido

880 ## $6 451-02/$1

$a ミクニ△ドオリ

880 ## $6 451-02/(B

$a Mikuni△dori

更新履歴

更新年月	更新内容
2021 年 5 月	初版作成
2022 年 4 月	・「400　異形アクセス・ポイント：個人、家族」フィールドの「$c：識別要素」の規定に、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の職業、専攻の記録方法に関する記載を追加。あわせて各サブフィールドの末尾の区切り記号の規定を修正。 ・その他軽微な文言の修正。
2023 年 8 月	・「６．関連規格およびコード一覧」（３）に「Standard Identifier Source Codes」を追加。 ・「９．データ例示」の＜個人名＞、＜著作＞の値を修正。 ・「010　米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN）」フィールドの規定を追加。 ・「024　その他の標準識別子」フィールドの規定を追加。 ・「670　出典」フィールドの「$a：出典」に個人名典拠の優先名称を国書データベースの著者レコードを参考に作成した場合の規定を追加。また、著作典拠に米国議会図書館の典拠レコード管理番号を記録する場合の規定を変更。国書データベースの著作 ID の接頭語を「KOTEN:□」から「KOKUSHO:□」に変更し、対応する例示を変更。 ・その他軽微な文言の修正。
2024 年 3 月	・「９．データ例示」の＜著作＞の値を修正。 ・「010　米国議会図書館典拠レコード管理番号（LCCN）」フィールドの規定を修正。 ・「024　その他の標準識別子」フィールドに国書データベースの著作 ID を記録する場合の規定を追加。 ・「670　出典」フィールドの「$a：出典」の著作典拠に対応する外部データベースの識別子の記録先の規定を変更し、対応する例示を修正。 ・その他軽微な文言の修正。